



# 報 窓 同 工 會

## 2008

### 校 歌

嶺は秀づる磐梯山  
 水は湛うる猪苗代  
 これぞ乾坤秀靈の  
 精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば  
 礎堅くきずかれて  
 星霜ここに幾かえり  
 平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け  
 鶴を徽章に雄々しくも  
 至誠勤勞一すじに  
 進む健児の意気高し

峙つ嶺は峻しくも  
 寄せ来る浪は高くとも  
 これ奮闘の活舞台  
 これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬  
 作曲 新潟師範学校

初秋の候 会員の皆様におかれましては益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。  
 去る七月三日に会長梅津正夫氏が急に亡くなされました。  
 氏は昭和十三年五月二十五日に北会津郡荒館中荒井に生まれ、その後荒館小、荒館中、会津工業高等学校染織科へ入学。昭和三十二年三月に卒業され同年会津ガスに入社後平成元年四月にガスワーク株式会社を設立し、社長として手腕を発揮され、その後社名変更でガスワークの社長として勤めて平成十九年四月よりグロリア株式会社会の会長として、又仕事上でガスプロパン協会各役員も多く、その上前会津若松運輸管理者協会会長、福島県バレーボール副会長、元会津若松ライオンズ会長、元町内会長、松江財団常任理事、その多数多くの公職に就かれておりました。氏の偉業を讃え同窓会員を代表してあり日の姿を偲び弔辞を奉尊いたしてまいりました。  
 弔辞



### 『梅津会長をしのんで』

同窓会会長代行 手代木利夫

(昭28年建築科卒)

謹んで 故梅津正夫氏の霊前に弔辞を捧げ哀悼の意を表します。突然のあなたの訃報に樹榭し今日又ここに告別式に参加することは哀惜の窮みであります。あなたは平成十五年十月より県立会津工業高等学校十六代同窓会会長として今回まで元氣な姿で活躍されておりました。同窓会入会式 卒業式 入学式にそのお姿が見れないのが残念でなりません。あなたは学校教育方針 五つの誓

- 一 人格の完成
- 一 社会性の涵養
- 一 真理の探究
- 一 工業技術の習熟
- 一 健康の保持増進

に努力され同窓会長賞を設立し今年の表彰式に、初めて会長より授与されました。

かえりみれば、同校創立百周年記念事業において、事業部長として活躍され、同窓会館（鶴翔会館）建設に当たり努力されました。

現在でも年間延べ一千五百名の生徒が利用しております。又、吉田前会長胸像建立委員会の委員長として同窓会員に対して趣旨の理解とご賛同をいただくため努力され完成を見ました。地域同窓会、科別同窓会、

職域同窓会を取りまとめ、学校スポーツ大会応援、三年ごとの会工祭その他の事業をまとめられました。あなたの残された業績は同窓会にとつてかけがえのない指針として心の中に残ると信じております。ご冥福を心より祈りありし日のあなたを偲びつつお別れの言葉といたします。どうぞ安らかにお眠り下さい。  
合掌

平成二十年七月六日

福島県立会津工業高等学校  
同窓会代表副会長 手代木利夫

又、告別式の中で会長に同窓会より感謝状を贈呈いたしました。ご報告をします。その後七月十一日梅津家より学校にこられて同窓会発展のため告別式御礼を兼ね(拾万円)を寄付されました。使途について役員会で決定したいと思います。

平成二十年七月二十五日の本部臨時役員会において同窓会規約(第八条、第九条)によって代表副会長を会長代行すると決定をしました。又、平成十九年十月の定例総会の役員改選に梅津会長が再任されました。平成二十年七月三日に亡くなられました。その間、機友会十月二十日、美修会三月二十三日、物づくり発表会二月二十二日、校友会二月二十三日、入会式二月二十四日、卒業式三月一日、入学式四月八日、講演会四月二十二日、各地域会工総会、喜多方工と一緒の物づくり事業、その他事業を行いました。今後は、会長代行として微力ながら校長先生吉田顧問及び各副会長、幹事会員の皆様の御協力をお願いして十月十八日の総会に向けて進めて行きますので御協力をお願いします。



故・16代同窓会会長 梅津正夫氏

## 梅津会長在任中の功績



卒業式の祝辞



吉田一栄氏胸像に建立除幕式 平成18年10月



吉田一栄氏胸像建立除幕式

同窓会賞授与式・入会式 平成20年2月



### 松江賞の復活正式決定

松江賞の復活を正式に決定。松江賞は、同窓会が設立して以来、毎年授与されてきたが、平成18年度から授与されなくなっていた。松江賞の復活を正式に決定し、今年から再び授与される。松江賞は、同窓会が設立して以来、毎年授与されてきたが、平成18年度から授与されなくなっていた。松江賞の復活を正式に決定し、今年から再び授与される。

松江賞復活 平成18年2月

### サイパンから奨学生

会津工業製糖王、松江春次の縁で

サイパンから奨学生を受け入れ、同窓会賞授与式・入会式が行われた。サイパンからは、製糖王、松江春次の縁で、奨学生を受け入れることになった。同窓会賞授与式・入会式は、今年2月に開催された。

サイパンから研修生受け入れ 平成17年8月



松江宏次氏・佐伯圭一郎氏来校 平成19年6月



## 会津工業高校 百六十年目のいま 輝け 会工

校長 渡邊 秀雄

全国各地の会津工業高校同窓生の皆様、日頃より母校・生徒の為に皆様の情熱あふれるご指導・ご援助を賜り心より感謝申し上げます。

はじめに、会工同窓生の皆様に、第十六代会工同窓会会長 梅津正夫様のご逝去されましたことをお知らせ申し上げます。梅津正夫会長様には、百周年記念におかれましては、同窓会館「鶴翔会館」の建設等に並々ならぬお力添えをいただきました。母校の為、後輩のためにご尽力をいただきましたこと、衷心より感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年で百六十年を迎えた会工は皆様の力に支えられ力強く羽ばたいております。平成十七年度から十九年度まで熊田校長のもと、全校あげて取り組んだスーパー専門校「目指せスペシャリスト事業」における、『窯変天目茶碗の制作とおもしろい成果を納め、事業終了後の現在も各方面から実践に関するお問い合わせなどが多く寄せられています。今年度からセラミック科と化学工学科が一緒になりセラミック化学科となりましたが、よりすばらしいセラミック・化学工学科を目指しすばらしい工業教育の実績を残すべく、より高度の工業教育の実践と生徒のワンランクアップの進路実現に向けて生徒・教職員一丸となり取り組んでおります。

また時期を同じくして、平成十九年六月より開始した、文部科学省・経済産業省の事業である『会津ものづくり人材育成事業』は、地域企業・自治体と喜多方市の喜多方工業高等学校と共同で取り組んでいます。今年度は事業の二年目にあたり、より高度の技術・技能の体験・習得ならびに先進的な工業教育を目指し、『会津版デュアルシステム』の構築に向けた取り組みを開始しました。これらの取り組みに対し、地域企業の

方々の積極的な対応と丁寧な指導ならびに教材等の御支援を賜り心より感謝しております。また、地域企業等において活躍されている諸先輩の大きなエネルギーをいただき、生徒・教職員共によりいっそうの輝きを増し、同窓生諸氏に追いつき追い越すことができる前途有為な卒業生を輩出できるよう学校全体で取り組んでまいります。

このように学校全体で様々な事業等に取り組む、学力の向上ならびに工業高校における技能・技術の向上、高度な資格取得を目指して努力しております。また、ものづくり教育をとおして心の育成を図り、特別活動(部活動など)をとおして体力(耐力も含む)の向上・精神の鍛錬など、心・徳・体のバランスのとれた人材の育成を目指しています。

今年も多くは部活動が活躍し東北大会・全国大会と駒を進めています。各地での大会において応援する機会がございましたら先輩として後輩にエールを送っていただければ幸いです。百年を超えた歴史と伝統を築き上げた同窓生のすばらしいパワーと情熱に心より敬服いたします。これからもこのすばらしい伝統を支えられて、新しい会工の歴史を刻んでいきたいと思っております。地域に愛され、地域に求められ、地域に応えられる会津工業高校・会津工業高校生を目指し、地域に密着した工業高校・生徒として産業・地域活性化等に積極的に貢献できるよう工業教育の充実に努めてまいります。これからも後輩育成・母校発展のため同窓生の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。結びに、同窓生の皆様のご健勝とご多幸を祈念すると共に、同窓会をますますのご発展をお祈り申し上げます。

### '08職員人事

#### お世話になりました。

熊田 良治	校長	退職
梅宮 昭雄	教諭	退職
白岩 孝一	教諭	退職
梨子本 傑	実習教諭	退職
丸山みつほ	常勤講師	退職
吉田 孝男	時間講師	退職
小泉 香奈	時間講師	退職
高橋 信次	就職支援員	退職
大塚 久敏	教諭	退職
山野 敏	教諭	退職
中野 善司	教諭	退職
仲川 康紀	教諭	退職
海老沢 康広	教諭	退職
佐久間 智広	教諭	退職
山野 幸喜	教諭	退職
鈴木 ひろみ	教諭	退職
長沼 悟	教諭(再任)	
菅野 幸雄	実習教諭	
増子 美樹	常勤講師	
長谷川 文明	常勤講師	
安部 訓生	常勤講師	
黒川 悠	時間講師	
山岸 英貴	主事	

#### よろしく願っています。

渡邊 秀雄	校長	新任
田代 實隆	教諭	新任
江本 城幸	教諭	新任
丸山 弘樹	教諭	新任
田中 哲	教諭	新任
花見 博	教諭	新任
金澤 直人	教諭	新任
風間 美穂	教諭	新任
鈴木 敬介	教諭	新任
鹿目 穂	教諭(再任)	
小林 孝浩	実習助手	新任
安藤 洋平	常勤講師	新任
遠藤 浩司	常勤講師	新任
熊谷 好広	常勤講師	新任
中島 司	常勤講師	新任
長谷川 智子	月手講師	
滝沢 智子	主事	

# 同窓会総会



定例総会 平成19年10月13日

## 関連記事

### 同窓会事業報告(2007.8~2008.9)

- ▶平成19年
  - 8月11日 柔友会総会
  - 8月25日 同窓会会報2007発行  
6500部印刷 5000部発送
  - 9月 3日 坂下会工総会 会長・校長・事務局3名出席
  - 9月14日 若松会工役員会・本部役員会
  - 9月30日 同窓会会員名簿発行
  - 10月 6日 一般会計ならびに特別会計・積立金監査
  - 10月 8日 三役会
  - 10月13日 本部同窓会総会
  - 10月20日 電友会総会
  - 10月20日 来年度の県立高校の募集定員発表  
化学工学科募集停止  
セラミック科が『セラミック化学科』になる
  - 10月22日 臨時役員会  
・総会時会計報告・今後事業・同窓会賞  
猪苗代会工総会  
シュガーキング基金設立記念式典に2名出席
  - ▶平成20年
    - 1月 バレーボールOB会50周年記念
    - 1月25日 会津会工会新年会
    - 2月12日 松江奨学会理事会・・・本部役員出席
    - 2月23日 建友会総会
    - 2月29日 同窓会入会式に役員多数出席 応援旗の贈呈
    - 3月 1日 卒業式に役員多数出席
    - 3月 1日 卒業式祝賀会に役員6名出席
    - 3月15日 福島会工総会
    - 3月22日 美修会総会
    - 3月27日 本部同窓会引継ぎ会・・・学校・PTA・本部三役・事務局合わせて13名出席
    - 3月27日 熊田小学校へ感謝状贈呈
    - 3月27日 職員クラブ主催送別会に会長ほか3名出席
    - 4月 4日 職員クラブ主催歓迎会に会長ほか3名出席
    - 4月 8日 入学式に役員出席
    - 4月24日 本部役員会・梨子本前事務局長へ感謝状贈呈
    - 5月10日 同窓会会報2008原稿依頼
    - 5月17日 郡山会工総会
    - 6月 1日 東海会工総会
    - 6月21日 東京会工総会

- 6月22日 近畿会工総会
- 6月24日 松江奨学会理事会
- 7月 3日 本部同窓会会長梅津正夫氏物故される  
(告別式7月6日)
- 7月 5日 機友会総会
- 7月 7日 野球OB会総会
- 7月 9日 三役会 事務引継ぎ
- 7月19日 セラ友会総会
- 7月25日 臨時役員会
- 8月15日 サッカーOB会総会
- 9月 3日 坂下会工総会
- 9月15日 同窓会会報2008発行

### 懇親会・祝賀会

平成19年10月13日  
ホテルいづみやにて



平成19年10月 定例総会



## 熱いご支援に感謝、学校側は常に最新情報の発信を！

前校長 熊田良治

「嶺は秀づる磐梯山 水は湛うる猪苗代 これぞ乾坤秀霊の 精気鍾り成る処」  
 ・「鶏鳴三度地に鳴きて 会陽の地の朝ぼらけ 緋織鎧若武者が 血潮高鳴る胸の鼓動」  
 ・「頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子 栄えある健児よ 理想の盾をば振りかざし！」  
 ああ！なんと明快で小気味よく心に響く校歌・応援歌ではありませんか！！同窓生の皆様方は、この校歌・応援歌を人生の折々で口ずさんでおられることでしょうか。嬉しく喜びに満ちているとき、苦しくて辛いとき、悲しくて泣きたいとき、青春時代の頑張りや校歌・応援歌に込めて、自分を励ましてきたのではないのでしょうか。多くのの人々にとって母校とはそういう存在であると存じます。  
 全国の会工同窓生の皆様、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。母校の動静や後輩達の活躍を、新聞やテレビ報道で見聞きする度に、後輩達に熱い声援を送っていることと存じます。同窓会は会工の大応援団であります。本当にありがとうございます。  
 かく言う不肖私儀も、この度会工の卒業生皆様の仲間入りを果たしました。平成20年3月末で定年退職いたしました。会工在職中は、同窓生の皆様方に熱い、熱い！熱い！！ご支援を賜り、楽しく、思い出深い・充実した日々を過ごさせていただきました。誠にありがとうございます、心より厚く御礼申し上げます。会工教員として定年を迎えたことは私の誇りでもあります。  
 ところで、常に申し上げて参りましたが、創立106年目の会工は、明治35年(1902年)に「福島県立工業学校」として開学以来、一貫して「ものづくり魂」を受け継ぎ、幾多の先輩諸氏が全国で活躍し、会工の名を高めてきました。会工の教育目標は『人格の完成、社会性の涵養、真理の探究、工業技術の習熟、健康の保持増進』です。この目標は会工の建学の精神であります。会工教育の最大の特色は、先輩から後輩に受け継いできた『ものづくりによる人づくり、部活動による心づくり、つまり人格教育』です。これからは会工教育の発展のために、互いに協力して応援して参りましょう。よろしくお願ひします。



松江奨学会・同窓会より  
熊田前校長に感謝状贈呈 (H20.3.27)

退職にあたり松江奨学会・同窓会より感謝状を頂戴しました。誠にありがとうございます。また、梅津正夫会長様の突然の御逝去、残念でなりません。故人の御冥福を御祈り申し上げます。カイコトバンザイ！！

ここで、この紙面を借りて学校側にお願ひします。私は会工在職中に、数多くの会工同窓会に出席し、限らないご支援とご協力を頂戴してきました。そして全国の同窓生は、会工生の一挙手一投足を敏感に注目していると、肌で感じてきました。全国の同窓生が会工を知る術は何でしょうか。それは「報道を通じて」であり、「会工ホームページ」であります。どうぞ、会工生の活躍や会工発展の現況をつぶさに発信してください。情報は最新の方が価値が上がります。退職して痛感することは、学校の外側からは学校内部が見えないということです。会工生の活躍のニュースを素早く発信することで、同窓生はもちろん、保護者・地域・企業・そして小中学生等々から会工が理解されます。工業教育の良さが社会に広く伝わり、工業高校の見直し発展に繋がります。幸いにも平成20年度から「地域連携推進部」が、会工の学校組織に誕生しました。この組織が中心となり、できれば全県版・東北版・全国版に載るようなニュースや様々な取り組み等を発信すれば、全国の会工同窓生に後輩の活躍の様子が届きます。どうかよろしくお願ひします。  
 最後になりましたが、会工建学の精神である「人格教育」の充実と、会工卒業生を誇りとし会工校歌・応援歌を愛してやまない同窓生の皆様のご健勝とご多幸と、そして同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げ、私の退職の挨拶といたします。カイコトバンザイ！！

### 若松会工会主催 研修親睦会のご案内

日時：平成20年10月13日(月)

- 会津若松ワシントンホテル集合 (11:00)
- 同ホテルで昼食会 (11:30~12:15)
- 猪苗代町翁島「天鏡閣」・「迎賓館」見学 (13:05)
- 磐梯町・慧日寺の「金堂」見学 (14:30)
- 会津若松ワシントンホテル解散 (15:50)

◎会費は¥2,000となります。

お問合せ先：研修親睦会幹事  
小山 源昭 TEL 090-9635-0236 (携帯)

### 同窓会定期総会開催のお知らせ

日時：平成20年10月18日(土)

午後4時より総会 (午後6時より懇親会)

講演会 (総会終了後)  
 演題「窯変天目茶碗の制作を通した  
 スペシャリスト育成への挑戦」  
 講演者 佐藤正道氏 (昭和59C卒)  
 セラミック科・セラミック化学科主任

場所：ホテル「いづみや」  
 市内南千石町 TEL 0242-27-5538

会費：5,000円 (新入会員は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせ下さい。  
 同窓会事務局 (真田郁夫) TEL 0242(27)7456  
 会津工業高校内 FAX 0242(29)9239

シユガーキング  
10周年記念式典  
平成19年11月  
(有楽町・電気会館)



松江奨学会 理事会後懇親会

各支部総会時等の代表あいさつ  
代表副会長 手代木利夫



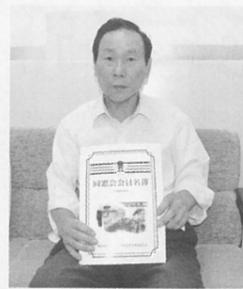
平成20年1月 新年会 (米熊)



事務局を長年務めた梨子本さんに感謝状

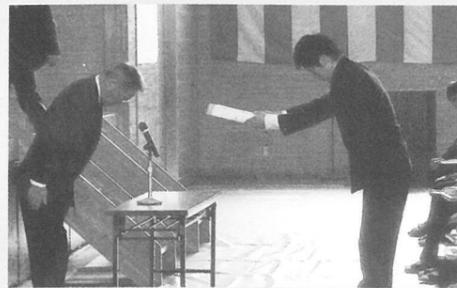


祝賀会 (米熊にて)



同窓会会員名簿発刊  
平成19年9月

# 同窓会の活動



同窓会入会式時 記念品贈呈  
(東京会工会より)



松江賞・初めての同窓会賞授与式 平成20年2月28日



臨時役員会 平成20年7月 鶴翔会館にて

同窓生として

H19年3月セラミック科卒  
小山 信幸



私達は3年間学んだ会工を卒業し、同窓会に入会させていただきましたが、詳しい活動内容を具体的に知りませんが、残された在校生の学校生活に役立つ活動等、本当に自分達が行っていきけるのか、母校のために何をすれば良いのか不安は数多くあります。しかし、卒業後も母校に携われることをとても誇らしく思っているため、母校の発展のために力を入れていきたいと思っております。最後にありますが、同窓会の一員となつたことに深く刻んで、母校のためになるよう精一杯努力精進してゆきたいと思っておりますので、御指導よろしくお願いたします。



駒大 大八木監督と(創立記念講演時)

## 若松会工会の活性化に向けて

副会長 若狭春生 (昭38K卒)

平成18年 会津若松市に河東町と北会津町が合併され、若松会工会もそのエリアが広くなり、多くの同窓生に同窓会の趣旨を理解して頂き、同窓会活動に参加してもらおうと色々な集いや機会をとらえて賛同を得るべく話をしているが、中々参加まではいかないのが現状で、話の中で同窓会は一部の人達の集まりの様に考えていたり、年寄りの集まりの一部と思っておられる方もおり、更に昨今の景気の低迷が余分な経費削減と相まって、同窓会に入れば経費がかかるから未だ入らなくても良いなどの返事をもらうと同窓会の楽しみ



や精神的に若返り、ストレスの解消に繋がることを知らない人達が気の毒でもう少し視野を広めて多くの同窓生や同級生と話をし、青春時代の気分を甦らせて今後の人生や事業活動に役立たせて欲しいと思うし、第一に現在の会津工業高等学校の文武両道の活動を知って頂きたいし、わが母校の発展は同窓生全員の誇りであると認識して同窓生相互の親睦は勿論のこと、母校の発展と在校生に対する叱咤激励と将来ある若い在校生に暖かい援助をすることが、会津いや日本繁栄の爲ではないでしょうか。よくいろいろな同窓会の席で集まりが悪いと話が出ます。確かに前述の理由などで参加者が少ないのは同窓会運営者にとっては悩みの種です。しかし、参加する方がお一人更にもうお一人とお誘いして頂けたら少しづつでもその輪が

## 会津会工会

毎年、会津会工会は新年会を兼ねて市内割ほう「米熊」にて、1月下旬に開催し、親ぼくを深めております。今年1月25日に、約60名の出席で一年間の活動と本部同窓会への支援協力を申し合わせしました。



定例総会 平成20年6月

## 東京会工会

会長 荒井士郎 (昭34K卒)

二〇〇八年四月「会工会だより」発行  
室井名譽顧問タヒチ政府から「タヒチ・ヌイコマンド勳章」を受章。  
二〇〇八年五月十九日 神奈川県茅ヶ崎西海岸に於て地引網催行。  
二〇〇八年六月二十一日 総会 上野静養軒にて出席者会員九十一名、同伴二名、来賓七名



「会員相互の親睦」を基に会津の名酒「末廣」の樽割を始め盛大に催行。

## 大漁だよ 湘南海岸地引き網

東京会工会では5月17日(土)湘南茅ヶ崎西海岸にて、第5回東京会工会「地引き網」を開催いたしました。

当日は、晴天に恵まれ、湘南海は穏やかで絶好の地引き網日和の中、会員及び会員関係者としてTOTO(株)の会工会員やその友人・知人の方々を含め総勢69名の参加をいただきました。9時30分集合、会長及び副会長の挨拶の後、10時頃より約2時間前に700メートル沖合いに入っていた網を一斉に引き上げにかかりました。

# 文武両道

# 鶴雲飛翔

動力で引いてくれるのできつい  
労力ではありませんが、みなさん  
んで「ヨイショ、ヨイショ」と声  
を掛け合い網を浜辺に引き上げる  
ことができました。

網の中には、湘南名物のシラス・  
サバ・アジ・イワシなどがぎっし  
り入っていて大漁でした。

額に汗した後は、いよいよ懇親  
会食となりテントの中で捕れたば  
かりのシラスをショウガ醤油をか  
けお腹いっぱい食べることが出来  
ました。

皆さんは湘南名物の生シラスを  
思う存分食べて満足されており、  
これだけでも地引き網開催の意義  
があるように思われました。

アジ・サバ・イワシなどはサシ



ミと焼き魚に、野菜のバーベキユ  
ーも含めお酒・焼酎・ビールを  
酌み交わし捕れたての魚の味を十  
分に味わいました。

テーブルには弁当・オードブル・  
てんぷら・漬物・かわきものなど  
皆さんの料理が並び、美味しい食  
事で笑顔・笑顔の皆様でした。

砂浜では、宝さがし・スイカ割  
りで子供達の歓声がこだまし、更  
に全員による恒例のビンゴゲーム  
を楽しみました。

子供(孫)や家族を巻き込んだ、  
茅ヶ崎での地引き網も東京会工  
開催のメイン行事になってきたよ  
うに思います。

最後に伊藤副幹事長・菅家顧問  
両氏の音頭にて校歌・応援歌を声  
高らかに歌い懇親会を終了しまし  
た。

地引き網の醍醐味を満喫し、会  
員相互の親睦をおおいに図ること  
ができたものと判断しています。

参加者からも是非来年もやろう  
との声があり年間行事予定に組み  
込んでおります、皆様のご参加を  
心よりお待ちしております。

## 東海会工

会長 星 芳雄  
(昭36E卒)

平20年6月1日総会を開催しま  
した。  
開催に当たり平20年3月7日一



東海会津会工と菅家一郎様の面談の様子

泊旅行で役員会を行い総会の打合  
せをしました。打合せの主たる内  
容は、出席人員の増加を図るには  
です。

対策として昨年同窓会役員名簿  
が発刊されたので会員名簿から洩  
れていた昭35年卒以降の人に絞り  
リストアップ、総会案内状を追加  
発送し、その後地区連絡委員は地  
区会員へ訪問や電話等の連絡をし  
て出席を呼びかけました。

結果  
案内状発送総数  
出席 39  
欠席 4  
今後連絡不要 24  
行方不明 29  
未回答 23  
出席は例年通りでした。



東海会工総会

出席人員の増加を図るには、普  
段から会員間のコミュニケーション  
ンが大事であると痛感しました。  
又、高齢化社会を反映して体調  
不調での欠席の方が年々増加して  
います共々に体調管理には十分気  
を付けていきたいと思えます。

総会は、校歌斉唱で始まり手代  
木副会長、渡邊学校長等の来賓の  
方々祝辞を頂き浅沼定雄さん(昭  
33K卒)の詩吟と剣舞で大変盛り  
上がった総会でした。

## 近畿会工 中間役員会と 新年会を開催

会長 渡部藤雄  
(昭31E卒)

近畿会工では恒例の新年会を、  
去る一月二十七日大阪曾根崎町の  
割烹「八幸」で、賑やかに開催い  
ました。

京都方面などから少し早めに来  
た人は、近くの「お初天神」でお  
参りを済ませ、定刻の十二時には、  
予定の十二名が揃った。今年には久  
しぶりに彦根市の方から、斎藤先  
輩(28M)も出席される予定でし  
たが、急用のため欠席となり、結  
局毎年同じメンバーの十二名とな  
ってしまっただ。

黒川先輩(23T)長谷川先輩  
(26C)には、毎年ご出席頂き、本  
当にうれしく又喜ばしいことであ  
ります。



# DEPART & WELCOME

新年会を始める前に、年度中間  
の役員会として、半年間の活動経  
過、今後の活動計画などについて  
話し合い、黒川先輩など、新会則  
となつて初めての「喜寿」のお祝  
いを贈呈したことを確認し、大竹  
氏の会社工場の増設竣工祝いとし  
て、近畿会工から記念を贈呈す  
る事を決定した。

新年会は、飲む程に酔う程に話  
題の中心は、お互いの体調管理や  
健康維持の方に流れるが、先ほど  
の役員会のことも話題になったり、  
宴席は楽しく盛り上がった。

この新年会では、ふるさと会津  
の懐かしい郷土料理が頂けること  
も嬉しい楽しみの一つなのです。

安達ヨシ子さん(35K)のご好  
意で、懐かしい会津の料理「豆数  
の子」をご馳走になります。「いつ  
も申し訳ありません」と感謝し  
ながら「おふくろの味」を思い出し  
ながら、本当に美味しいもの。で  
すから、お酒にも話題になり、一  
段とはずみがついて賑やかになっ  
てきます。



今年は黒川さん(23T)からも  
会津料理の名物「鯉の煮付け」を  
頂きました。これ又懐かしい故郷  
の味でした。

あの硬い会津の鯉が、柔らかく  
美味しく煮付けられており、懐か  
しいおふくろの味でした。

近畿のこの地に住み着いて何十  
年か、今以後、故郷会津の懐かし  
い料理を忘れることなく、我が家  
の食卓を飾り、これからも先もこ  
の思い出と共に、子供たちに何時  
までも受け継がれてゆくことだろ  
うと思えます。

### 近畿会工の歩み

【生い立ち】

藤田 正次(1933) 昭和13年5月  
修学旅行で大阪へ来た時 先輩  
の歓迎を受けた。  
神田 忠志(1939) 昭和14年5月  
修学旅行で大阪へ来た時 先輩  
の歓迎を受けた。

【歴代会長と年代】

初代 長沢 興学(1959)  
昭和34年6月7日近畿会工設立  
会工名簿によると昭和36年6  
月4日近畿会工設立となつてい  
るが昭和34年6月7日である  
(資料より)

2代目 沢口 善市(1974)  
昭和49年まで

3代目 鈴木 和雄(1974-1977)  
昭和49年より 昭和52年まで

4代目 井上 武美(1978-1981)

昭和53年より 昭和56年まで  
5代目 原田 利良(1981-1984)  
昭和56年より 昭和59年まで

近畿会工会休眠  
昭和59年より 昭和62年まで

昭和62年2月24日(大洋ハトメ  
に集合)藤田 正次氏、阿部氏、  
武田氏が中心となり近畿会工会再  
興に乗り出す。

昭和63年6月13日 京都祇園ホ  
テルに有志25名集合武田良雄氏を  
議長とし沢口、鈴木、井上元会長  
出席 臨時復興総会を開く。復興  
世話人、事務局を決定した。

6代目 若林精二郎  
昭和63年9月25日(1988) 近畿  
会工総会を開催した。再興完結  
以降8年間平成8年6月2日  
(1996) 現在に至る

## 郡山会工

幹事長 金田 寛  
(昭21M卒)

去る五月十七日(土)「三松会  
館」において、平成二十年度定総  
会を開催しました。

参加者は少なかったが、新しく  
前会津工業高等学校校長 熊田良治  
先生が入会され、会員・来賓の  
方々の大歓迎で総会が盛り上がり、

活気にあふれた総会になりました。  
今後前校長の助言のもとにこれ  
から卒業して行く後輩に期待され  
る郡山会工を築いていきたいと  
思います。

来賓は次の方々にご出席いた  
きました。

会津工業高等学校長  
渡邊 秀雄校長先生  
会津工業高等学校同窓会副会長  
手代木利夫様

〃 同窓会事務局長  
真田郁夫先生

東京会工顧問 板橋 桂様  
会津工業高等学校の活躍ぶり、  
指導の重点、又同窓会の最近の動  
きと事業、東京会工の現況など  
具体的に報告いただきました。会  
工生・同窓生の伝統を重んじる  
「世々受け継ぎし会津魂」がひしひ  
しと感じ、有意義な集いであつた  
と思えます。

◎事業計画(平成二十年度)  
・総会 五月十七日(土)  
「三松会館」

・総会資料送付  
六月十六日 総会欠席者全員  
・第五回ボーリング大会  
六月二十一日郡山ミナミホール  
・第一回役員会 七月 三松会館  
・同窓会出席者決定、その他  
・会工同窓会定期総会 十月  
二名出席

・第二回役員会  
平成二十一年一月 三松会館  
・同窓会総会報告 その他  
・第三回役員会 三月 三松会館



定例総会(三松会館)

◎役員改選について  
(平成二十年～二十一年)

- ・会長 荒井 久 昭和十八年T卒 留任
- ・副会長 安田 久夫 昭和十八年M卒 留任
- ・ 渡部 節夫 昭和十六年K卒 新任
- ・ 幹事長 金田 寛 昭和二十一年M卒 留任
- ・ 会計 佐藤 亨 昭和三十八年C卒 新任
- ・ 事務局 菊井 徹哉 昭和五十八年D卒 留任
- ・ 幹事 鈴木 芳文 昭和二十年C卒 留任
- ・ 泉田 和男 昭和二十五年C卒 留任
- ・ 天井 清 昭和二十六年C卒 留任
- ・ 福地 勝 昭和三十年M卒 留任

# 同窓二万五千

# 至誠勤労

## 福島会工会 総会報告

幹事長 神田信之  
(昭31M卒)

・監事 小柴 久治  
昭和二十四年M卒 留任  
藤沼 嘉典  
昭和三十三年T卒 新任  
◎第五回郡山会工会ポリング大会  
六月二十一日(土) 郡山ミナミ  
ホールにおいて、第五  
回ポリング大会を開  
きました。  
参加者は  
八名で年配  
者が多い  
が、初参加  
の前会工校  
長熊田良治  
先生が優勝しました。  
成績は次の通りです。



・二位 関 貞雄  
昭和二十六年建築卒  
・三位 安田 久夫  
昭和十八年機械卒

●訃報  
・生沼 豊  
S18K卒 H18.9.4 ご逝去  
・望月 日吉  
S16C卒 H18.12.2 ご逝去  
・島田 茂彦  
S20C卒 H18.7.8 ご逝去  
・佐藤 留治  
S20M卒 H18.12.4 ご逝去  
・池田 英一  
S21C卒 H19.2.20 ご逝去  
・佐藤 博道  
S32C卒 H19.9.9 ご逝去  
・星 威  
S36C卒 H20.6.13 ご逝去

平成十九年度の総会を去る三月十五日福島市内のホテルにて参加者十八名と本部から手代木副会長、熊田校長先生、梨子本事務局長にご出席いただき開催しました。まず来賓挨拶で手代木副会長が在校生に対し噴気を促す趣旨で鶴賞、松江賞に加え今年から「同窓会賞」を新設し、各クラス一名で七名が受賞の報告。熊田校長先生からは、「仕の掟」の継承は勿論、会工生として品格を見につけるため、下記の三つの指針を掲げ指導に当たっている旨の説明がありました。

- ① 挨拶がキチンとできること。
- ② 校歌は四番まで歌えること。
- ③ ものづくり、資格取得、文武両道で学校生活を充実させること。

引き続き、在校生の就職内定状況について報告があり、県下一の高内定率である旨の説明を受け、この面でも会工健児の素晴らしさが評価されている現状を聞いて、出席者一同に誇りと安堵の笑顔が見られました。

梨子本事務局長からは、長年にわたり同窓会の皆様に協力を得て事務局を担当してきましたが、こ



平成19年度総会 平成20年3月15日 18名出席

の三月で定年を迎えます。今後引き続き同窓会の役員として当会が発展のために力を注ぐ旨、の挨拶がありました。

式次第は順調に進み、星顧問(18M卒)による乾杯の音頭で祝宴がスタート。

今のところ多くの同窓生が顔を合わせる機会は年一回ですので、各々の近況について語り合う中で、特二先輩から後輩に語りかける言葉に力が入り、今後の人生の橋渡しのためのアドバイスが織り込まれて、和やかさの中にも真剣さが漂う場面がありました。

次に、各人からの近況報告に入り起業家として現在事業を継続している数名の会員からの報告で、

過去の苦難との戦いの実例をあげて説明があり、それ乗り越えてきた経緯と現状について披露された一面もありました。

最後に定番ですが幹事が用意した校歌、応援歌の歌詞を確認しながら声高らかに合唱し次回での再会を期して散会しました。

反省として、同窓会へ一人でも多くの出席者を募る方法と、定期開催について検討して行きたいと思えます。

### 福島会工同窓会のあゆみ

年号	元号	行事など	摘要
1962	昭37	4月福島会工同窓会発足 (母校60周年記念事業の成功を期して発足) 会員数28名	初代会長 栗村市郎氏 (T18T) 副会長 星 栄祐氏 (S18M) 副会長 渡辺陽一氏 (S21L) 幹事 星 武氏 (S27E)
1963	昭38	職域会工会との連携強化により会員増を計り 会則及び名簿を作成する。福島市上町万清にて 総会を開催 (年1回の総会開催等の承認)	職域: 北芝電機 19名 東北沖電気 8名 トーアエイヨ 7名 北東衡機 4名 日東紡(福島) 8名 官庁関係 5名 自営業他 14名
1971	昭46	初代会長 栗村市郎氏死去 二代目会長 星 栄祐氏就任	ホシ製作所社長
1986	昭61	第24回総会開催 星 栄祐氏会長辞任 三代目会長 星 武氏就任 会員数120名	キタンバ技研社長
1987	昭63	前会長星栄祐氏知事表彰受賞祝賀会	
1988	平1	前会長星栄祐氏勲五等瑞宝章叙勲受章祝賀会 副会長 渡部陽一氏逝去	
1999	平11	100周年記念を主眼に総会を開催	同窓会本部より3名参加
2000	平13	100周年記念行事の成功を期して総会を開催 100周年記念行事に関する募金活動	同窓会本部より4名参加 当地区11企業への訪問

# REPORT & MESSAGE

## 坂下会工会

会長 大堀順一  
(昭27C卒)

総会は9月3日(月)に母校の渡邊校長、本部同窓会、湯川会工会、地区OB会会長等のご出席のもと盛大に行なわれました。今年度は設立して30年と記念になる節目の年であったので、松江春次翁の語りべを、会津若松在住でサイパン生れの菅野栄子様を講師にお呼びし、語っていただきました。さらに記念の校章入りの手ぬぐい(紫紺の布地に、校章・文字は白抜き)を安藤染店の協力で制作。総会当日にご披露し会員相互のきずなを深めました。

また、設立にあたってご尽力、ご功績のあった前会長・江川一正



昭和54年8月 坂下会工会 設立総会



坂下会工会・設立30周年記念タオル

氏、前々会長・佐藤政利氏の両名に感謝状を贈呈いたしました。そのほかの活動としては、今年度、坂下地区の新生10名に、6月に贈呈された地区PTA総会時に記念品を贈呈いたしました。また8月24日には、坂下五校による親善ゴルフ大会を開催し親ほくをはかっております。

今年度の役員は次の通りです。  
常任顧問 江川一正・佐藤政利  
会長 大堀順一  
副会長 伊藤 実 佐藤悦朗  
幹事長 猪俣勇一  
副幹事長 梨子本傑 甲斐光威  
安藤信之  
監事 高久俊昭 五十嵐一夫

## 猪苗代会工会 総会開催する

会長 菅沼淳一  
(昭36E卒)

猪苗代会工会は平成7年1月に発会し今年で14年目になる。各地区にはそれぞれ連絡責任者を配置し、連絡体制の適確化をはかっている。

会の最大のイベントとなる総会は、去る10月26日、町内の「新生



定例総会 新生旅館にて

旅館」において開催した。総会は会員16名参加のもと、本校同窓会からは、梅津会長に代わって手代木副会長、若狭幹事長、また本校からは熊田校長先制、若菜教頭先生、梨子本事務局長のご臨席を賜り盛大に開催された。議事に先立ち来賓の各氏からそれぞれの現況・課題などについての説明を頂いた。引き続き校歌斉唱後議事に入った。主要議題としては、19年度の事業経過報告、収支報告、統括して20年度の事業計画について協議が行われた。

事業計画については執行部提案の通り  
一、本校同窓会への参加協力  
二、会員相互の親睦事業  
三、新会員の勧誘事業

について承認され、三本柱として取り組む事とした。

なお、当会においては若年層の会員が激減しており、会員全員参加のもと効果的な勧誘活動を展開することとした。具体的展開については別途ピックアップメンバーにより検討する事が決定された。引き続き懇親会に入り出席会員の近況報告を含めた自己紹介、また学生時代の懐かしくも懐かしい、想い出に話が弾み晩秋の猪苗代の夜は更けていった。

最後には恒例のがんばれ応援歌をカラオケに併せ熱唱し、お互いを励まし合い来年の総会で再会を約し、それぞれの「わが家」へと帰って行った。

## 湯川会工会

会長 菅沼章生  
(昭29C卒)

平成17年に山口瑞穂前会長より引き継いではや4年目になりました。現在活動は佐野幹事長と二人で、本部とのかかわりを重視しながら会の組織を運営しております。

9月3日には隣の坂下会工会に招待され親睦を深めることができました。

## 西会津会工会

会長 鈴木 仁  
(昭21M卒)

平成17年5月の総会時就任以来、早3年の年月がたちました。その間、諸事情により総会を開催することが出来ずにあります。今年度は本部と連絡をとりながら、是非開催したいと考えております。

## 母校職員 鶴友会

会長 長崎敏秀  
(昭44G卒)

三月の教職員定期異動により、梨子本傑(41K卒)が退職、山野敏(49G卒)、渡部訓生(平8E卒)両名が転勤され退会しましたが、四月より田中哲(平7A)、中丸淳(昭55K)が加わり、母校職員としてのOBは11名で組織・運営されています。したがって本部同窓会の事務局になります。

# 一意専心

# 建友会

会長 小山源昭 (昭38 A卒)

建友会は会工建築科の卒業生で組織され、毎年2月の最終土曜日に定例総会を、東山温泉にて来賓を含め二百名位出席し開催しております。

その事業活動として、総会の他に各科のOB会の総会に来賓として出席してお互いの親睦をはかっております。さらに会員有志定例会や親睦旅行を行なっています。親睦旅行については年1回、30年以上続いております。



# 電友会

会長 荒明正義 (昭30 E卒)

会工電友会、第13回総会は、平成19年10月20日会津若松市内の、ホテル・ニユーパレスで開催しました。

会員ら31名が出席、事業報告、会計報告、事業計画、会計予算等の審議と役員改選を行いました。

平成20年3月1日の卒業証書授与式には、電友会より4名出席

福島県立会津工業高等学校  
平成二十年三月一日  
卒業生に贈る言葉  
電友会

しました、今年の卒業生は39名で、就職28名、大学、専門学校等の進学11名で、全員元気いっぱい新たな人生に向けて旅立ちました。

卒業に際して、学校関係、同窓生の皆様から「卒業生に贈る言葉」をお願いしたところ36名の方から、人生の豊かな経験を踏まえた貴重な言葉を沢山いただきました。その原稿をコピーし製本したものが「卒業生に贈る言葉」の冊子です。

卒業式終了後、3年電気科の教室で、担任の海和先生と同窓生、ご家族立ち合いのもと電友会入会式を行い、記念品として「卒業生に贈る言葉」の冊子と「ボールペン」を生徒代表のホームルーム長に手渡しました。

夢と希望を持って巣立った卒業生の前途に幸多かれと願ひ、同窓生皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、電友会のご報告といたします。



約10人が出席し、栗城和夫会長があいさつし、昨年度の事業が報告されました。

親睦会の開催、会員増強、講演会の開始など今年度の事業を決めた。

総会後、渡邊秀雄校長、手代木利夫代表副会長ら来賓を交えて懇親会を開いた。

総会で旧交を温めた



# 機友会

会長 栗城和夫 (昭41 M卒)

会津工高機械科卒業生で作る会  
工機友会総会7月5日(土)、会津若松市のホテルいづみやで開催しました。

高校生ものづくりコンテストなどで活躍が期待される後輩を支援するための寄付、機友会の栗城和夫会長、佐藤義之副会長、荒川富上雄会計が同校を訪れた。

生徒代表で同校の工業クラブ初代会長の鹿又淳君(三年)に寄付金を手渡した。

渡辺秀雄校長、平山賢美機械科主任が同席した。

福島民報提供

# REPORT & MESSAGE

# セラ友会

前会長 坂場恒雄 (昭34 K卒)

今年度の「セラ友会」総会は、7月19日(土)、会津若松市内のホテルいづみやで総会を開催、本年度の事業などを決めました。来賓会員40名出席。議事では来年度、設立10周年に向けての記念事業、本部同窓会、同校のセラミック科、セラミック化学科への支援協力、会報誌の発行、各種研修会を実施することなどを盛り込んだ本年度事業計画を決めた。また、新会長に渡部洋子氏(昭32 K卒)、新幹事長に齋藤四志男氏(昭34 K卒)の新体制で運営されます。



第9回総会 ホテルいづみや



坂場会長・佐藤幹事長 退任あいさつ  
渡部新会長 就任あいさつ



セラ友会から感謝状贈呈

# 美修会

会長 白井 充 (昭42 L卒)

去る三月二十二日、ホテル「いづみや」にて午後六時より定期総会を開き、前年度の会計報告及び本年度の事業報告を行った。

本年度の事業として、会員間の親睦を深める為「春の花見会」「秋の芋煮会」等を行う。その後、熊田校長先生、梅津同窓会々々長等多数のご来賓の方々の御出席のもと懇親会を行い無事本年度の総会を修了致しましたことを御報告申し上げます。



又、美修会副会長の儀同哲夫氏が、会津塗重箱「ブルーダイヤ」で、全国伝統的工芸品公募展で栄えある内閣総理大臣賞を受賞し、

# 三菱伸銅鶴友会

会長 木津光右 (昭49 E卒)

会津工業高等学校の皆様には、日頃より大変お世話になっております。最近の三菱伸銅株式会社若松製作所の鶴友会活動状況についてご報告します。

本会は、会員の親睦を最優先に活動しております。新入社員の歓迎会や2年おきの旅行を計画し、北海道、大阪等へ数多くの参加者を得て行っております。昨年は2年に一度の旅行の年でしたが、臨時休業のため一泊二日の旅行は中止しました。

現在会員は135名です。今年も会工卒の新入社員が3名入社しました。5月には新入社員の歓迎会を盛大に行い、親睦を深める場となりました。

時々、母校の後輩たちが工場見学に訪れておりますが、大いに当社を見学していただき、益々多くの後輩たちが入社されることを期待しております。

# 日立会工会

幹事長 目黒和利 (昭30 E卒)

日立会工会は暫くぶりで平成19年11月8日に開催しました。今回は、日立製作所及び日立開連会社のOBの方々に開催案内を送り、22名が母校よりお送り頂いたCDから流れる校歌を耳にしながらか会場にお越し頂きました。



# 一生懸命

# 乾坤秀靈

総会開催に当たっては、母校同窓会事務局の梨子本先生にご連絡し、母校の現況、会工同窓会報などの資料をお送りいただきました。この資料をもとに「総会しおり」を作成して参加者に配布し、懐かしい母校の新旧の写真など眺めながら、楽しい歓談をする事ができました。

その中で全員に現況のスピーチをお願いしたところ大変バラエティに富んだ内容で、『なれない畑仕事に精を出す人、そば工房をやっている人、ゴルフに打ち込む人、釣りに夢中になっている人、まだまだ仕事を続ける人、中には毎日1万歩を実行している』等、全員が定年後に訪れた余暇を楽しみながら充実している生活の様子が紹介されました。

非常に有意義な内容のスピーチでした。次回からは年に一度は開催し、現役の方々にも声をかけ、また母校よりの参加なども考慮に入れながら更に充実した総会にすることを確認しました。

## 日曹会工工会

会長 瀬田晃旬 (昭44K卒)  
日曹会工工会は、日曹金属化学

(株)会津工場に勤務する会津工業高校同窓生で構成され、S44年度電気科卒業の岡戸進一郎会長を筆頭に、S44年度化学工学科卒業の永野副会長そしてS46年度機械科卒業の大谷副会長の他37名の会員で活動しており、平均年齢は36歳です。

歴史は古く、S36年から活動して46年になります。会員は優秀な人材が多く会社の重要な職務を任されておられ、今後の期待は更に深まっております。

会の大きな目的は、「会員の相互の親睦を深め、母校並びに会の発展を図り、会社の大きな期待に寄与する事」と規約にも記載されております。

会の活動内容を紹介します。4月上旬に総会を実施し、新役員体制と活動計画が決定されました。4月5日には、新入会員歓迎会を実施し新たな会員との親睦を図っております。

8月9日には研修旅行が企画され、昨年度は東京モーターショーを見学して自動車業界の改善の意欲と活気あるところを研修しました。

年が明けて1月には新年会を開催し酒を酌み交わしながら新年の挨拶が行われました。3月には、工場長を迎えて催される東山温泉での親睦会があり、ほぼ全員の8割以上の出席者があり先輩の今までの経験話とか最近の会員は、団休で行動する

事を苦手としている人が多く、何かと会を纏めていく事は大変な事です。役員を中心としながら会員相互の親睦と会社に信頼される人材育成そして母校の発展に寄与できる体制作りを更に進めていきます。

当会社の事業は産業廃棄物処理を中心としながら亜鉛、鉛事業として有機合成で作られるビスフェノールS製造などを実施しております。特に産業廃棄物処理でご相談のある方は当社日曹金属化学(株)営業まで電話連絡をお願いいたします。

## 若松ガス会工工会

今年、若松ガス会工工会は会社の事情により解散することになりました。

今まで本部同窓会へ支援協力をしてまいりましたが、会としてはできなくなりましたので今後は一会員として協力してゆきたいと思っております。

尚、六月初め、会の残金4万2167円を本部同窓会へ活動資金として寄付させていただきます。本部同窓会がますます活況に運営されるよう期待します。

## 東京電力会工工会

川俣将仁 (平5D卒)

東京電力(株)猪苗代電力所の浜通り地区を含む県内6事業に勤務する卒業生で構成され、平成20年6月現在51名の会員で組織されています。

年間の活動としては毎年8月に市内「割烹 萬花楼」にて総会を開催しています。また新年会は3月に一泊二日旅行を兼ねての会合を行なって親睦を深めています。

## 三菱製鋼広田製作所会工工会

会長 古川義市 (昭48K卒)

我が会の会工工会は昭和48年に発足して今年で36年になります。

その間合理化等で何度か解散の危機に会いましたが、ここに会社がある以上解散だけは避けようという事で現在に至っております。

会員は23名おまして、会長1名、幹事2名、会計1名という体制です。年間行事としては、2月に総会、4月花見(新人歓迎会)、7月暑気払い、9月旅行、12月忘年会等を行っております。親睦を深めあっております。

今年、旅行を少し早めて、7月21日、22日と岩手県の大沢温泉



# REPORT&MESSAGE

に行きまして最後にガンバレ応援歌で締め楽しい一時を過ごしてきました。これも会津工業高等学校の伝統かなとしみじみ感じてきた所でありました。これからもこの伝統を守りながら発展させていきたいと思っております。

## 昭和電工鶴友会

会長 山口栄喜 (昭46E卒)  
日頃より会津工業同窓会には何かとお世話になりお礼申し上げます。

当東長原支部は磐梯山を間近にした緑豊かな地域環境にある河東町東長原長谷地区にあり、この昭和電工の敷地には、昭和電工(株)東長原事業所とキャボットスパーメタル(株)会津工場、中央ケミカル(株)東長原工場等の各社があり、有機化学や無機化学などの化学工業製品と電子材料等の非鉄金属関係の製造を行っております。現在の会工同窓会の会員数は55名で、各会社の責任ある職場で昼夜活躍しております。

このように各企業に勤務している会工同窓生の、会工同窓会東長原支部を運営して、会工同窓会から、各会社より幹事を選出し、支部長並びに副支部長等を決め、会員相互の親睦を図り、情報の交換と自己啓発に努めることを目的に活動を行っております。

近状の活動状況をご報告申し上げますと、「会工同窓会東長原支部

会期」の規約に則り、毎年4月に総会を開催し、前年度の反省及び今年度の活動内容等を決定し、各種活動を行っております。尚、今年度の総会は4月25日に行ない総勢31名の会員が出席し、新入会員の紹介と挨拶や応援歌・校歌斉唱等を行い、会員の親睦を図り和やかに盛大に開催することができました。

その他の会工同窓会の活動につきましては芋煮会や送別会等、各社の各職場に点在している同窓生の親睦を深めながら交流会を行っており、会社は違っても東長原地区で働く仲間の交流を持つことの意義を感じております。

最近、昨今の厳しい社会情勢から定期採用の人数が少なく、定年退職等で会工退会される方がいるため、会工同窓会員数は減少傾向にあります。近年、昭和電工(株)で定年延長者の再雇用する制度が出来たため、会工同窓会東長原支部の規約を改定し、会工同窓会の加入を継続して頂くことに致しました。

今後は、当会工同窓会に深い化学系の学科が縮小される傾向にあり、新卒者の入社数に多少不安はあるものの、会津工業高等学校の優秀な卒業生を多く迎えられることを期待しながら、各社の会員とも昼夜仕事に励んでおります。



O.B.会  
会長 大越一郎 (昭35E卒)

設立50周年 1月13日 料亭「米熊」にて

## 会津工高バレー部の活動支えるOB会が設立50周年



50周年の節目を祝った記念式典



寄贈したバレーボール部の旗

## 後輩に部旗寄贈

## 野球部OB会

会長 室井勝己 (昭30A卒)  
会津工高野球部に20万円贈る



野球OB会は7月9日、同校野球部に20万円を寄付した。同会は昭和50年頃から毎年高校野球福島大会前に寄付金を贈っている。贈呈式は同校で行われ、室井会長・乃木幹事長が同校の渡邊校長・野球部八巻顧問に寄付金を手渡した。

福島民報提供

# 根性一途

# 獅子奮迅

## サッカーOB会

## サッカー日本一を報告



提供 福島民報

滋賀県守山市で九月に開かれた日本スポーツマスターズサッカー競技で優勝したFCプリメーロ福島レジェンドのメンバー、飯塚裕さんと中島和一さんの二人が六日、会津坂下町役場に竹内是俊町長を表彰訪問し、日本一の喜びを報告した。

## クラス会

### 会工十八会

影山五郎 (昭18 L卒)

第21回の会工十八会を芦ノ牧で開きました。八十路を越した今年は7人の出席でさびしくもありません。宴会後は医療制度等老後の不安を抱きながらの散会となりました。



## 染織科卒一八同級会

武田信孝 (昭23 T卒)

卒業年度が学制改革の過渡期にあり旧制中学は23年卒、高校編入者は24年卒と为了ため、入学年度の昭和18年度から一八会とした。



芦ノ牧温泉・大川荘にて

## 24・25年卒漆工窯業科同級会

佐藤政利 (昭24 L卒)

昨年、喜寿をお祝いして同級会を開催しました。同級生でもある恵日寺の住職にお払いを受けた後、懇親会を芦ノ牧丸峰ホテルにておこないました。遠くは大阪よりかけつけてくれ夜遅くまで懇親を深めました。



## 会津工業職員OB会 会工元気会

この会は福島県立会津工業高等学校(会工)に在職した退職教職員(会員)で組織し、目的は会員相互の親睦を図る。

- |           |       |
|-----------|-------|
| 会長 芳賀沼陽一  | 大山 次  |
| 副会長 渡部 正男 | 小林 満美 |
| 幹事 荒井 忠夫  | 高橋 繁  |
| 監査 吉田 孝男  | 三原 敏男 |
| 宮崎伊都夫     |       |
|           | 橋本 英雄 |
|           | 江花 光泰 |
|           | 斎藤四志男 |

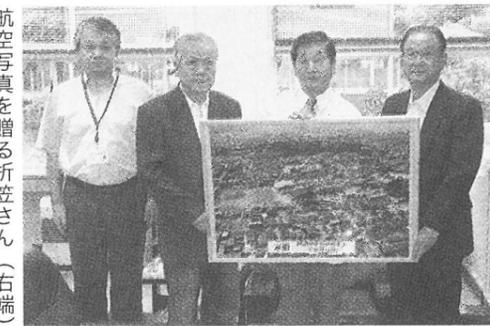
総会は毎年10月を目安とし、経費は年会費をもって基金とし、総会費はその都度徴収する。

# REPORT & MESSAGE

## M30機友会

折笠瑞寿 (昭30 M卒)  
会津若松市の会津工高機械科昭和三十年卒生でつくる「M30機友会」は八月三十日、同校に航空写真を寄贈した。

贈呈式は同校で行われ、折笠瑞寿さん(71)、江口満さん(70)が熊田良治校長に写真を手渡した。熊田校長は「生徒と職員で活用します」とお礼を述べた。写真は縦約五十七センチ、横八十七センチ。六月にヘリコプターを使って上空から撮影した。同校をはじめ、鶴ヶ城や中心市街地をひと目で見る事ができる。同校の玄関に飾る。

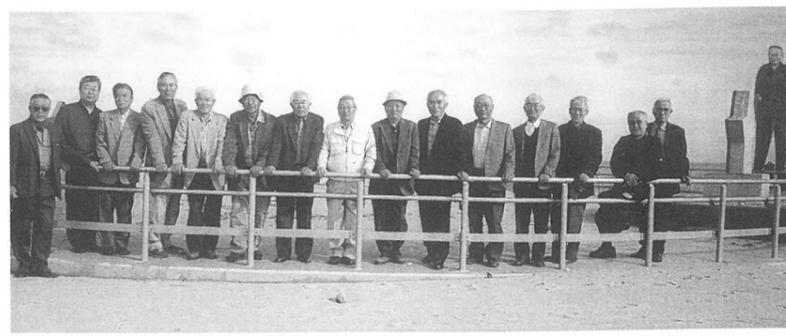


航空写真を贈る折笠さん(右端)と江口さん(左から2番目)

## クラス会

### 荒明正義 (昭30 E卒)

平成19年10月30日・31日、いわき市新舞子浜かんぼの宿「いわき」にて大沢信義先生をお招きして開催いたしました。今回は16名の参加でした。



## 32年卒電気科クラス会

岡村 進 (昭32 E卒)



平成20年4月ホテル「いづみや」にて一泊。翌日母校を訪問しました。

## 41年卒機械科クラス会

栗城和夫 (昭41 M卒)



6月26日・東山新滝にて12名参加 毎年開催しています

## 41年窯業科卒

長谷川利彦 (昭41 K卒)

急であったが、7月5日に市内居酒屋にて、相馬駒焼15代陶主田代法橋氏を囲んで夜中まで飲みあかして懇親を深めました。次回、相馬で会合を行なうことを決め散会しました。



## クラス会

木津光右 (昭49 E卒)

ところで私事ですが、恩師の本田毅先生が退官され第二の人生を奥様と一緒に猪苗代で「有」ホンダワイナリー・ワイン工房あいづ



会津在住の幹事会 (5月)

※クラス会の様子・写真等を事務局までお知らせ下さい。

# 質実剛健

# 今年度受賞・活躍された方

でいる。来場者は、春のイメージあふれるさわやかな水彩画に見入っている。



福島民友提供

会津の桜などを描いた水彩画を展覧

## 柳津出身の小川さん

柳津町出身の日本水彩画会釧路支部長、小川彰一さん(85)の水彩画展は22日まで、会津若松市の「ギャラリー アブドウ」で開かれ、会津や北海道の美しい風景を描いた作品が来場者を楽しませている。

会場には、鶴ヶ城の桜を描いた「花見帰り」や「満開」のほか、アトリエを構える釧路市の「釧路湿原」など、2007(平成19)年に描いた新作を中心に約50点が並ん

小川 彰一 (昭15C卒)

## 個展 さわやか水彩画

94才で現役で頑張っています。



今井 喬 (昭4K卒)

## 石英管の製造法など 数件の特許を取得

## 新・除草ぐわ開発

会津若松市のくわなど農具・園芸道具製造の堤製作所堤章社長は、新しい除草ぐわ「赤磐梯」を考案し、発売した。くわの両端にあるのこぎり状の切り込みで雑草を根っこから抜く機能性と、磐梯山の形の赤いデザインが特徴。昔ながらの製造技術を土台に改良を重ねた。会津発のアイデア農具として全国に売り出した。

福島民報提供



堤 章 (昭16C卒)

自慢の「赤磐梯」をPRする堤社長

## 新・除草ぐわ開発

若松の改良重ね全国へ発信

今井 喬 (昭4K卒)

昨年六月二十九日、室井元会長が、フレンナポリネシア領、タヒチ島の首都、PAPETEの大統領府において、タヒチの真珠養殖産業の発展に多大な功績を残したとして、タヒチ大統領より最高位の勲章を授与されました。

また、平成十六年には水産功績賞も受賞しています。



## タヒチ・ヌイ・コマンド勲章受章 室井 忠六 (昭24T卒)



記念史を手に報告した鈴木さん

## 会津若松調停協会史発行 鈴木 信雄 (昭27C卒)

なる若松調停委員懇話会との合併などの歩みを編集した。歴代会長や裁判官、OBら活動に携わった人たちの紹介、調停件数の推移などの記録もグラフを交えまとめた。A四判で百四十五ページ、三百部を発行した。記念史は関係者や図書館などに寄贈するという。

調停協会(東條貞一郎会長)は、二十六年で、長年活動を進め、記念史を初めて発行した。記念史は同協会の前身となる若松調停委員懇話会との合併などの歩みを編集した。歴代会長や裁判官、OBら活動に携わった人たちの紹介、調停件数の推移などの記録もグラフを交えまとめた。A四判で百四十五ページ、三百部を発行した。記念史は関係者や図書館などに寄贈するという。

## 会津の誇り 現在に伝承

宗像 精 (昭26L卒)



「ならぬことはならぬものです」「知られる、会津藩の子弟に対する心構えられるもの」と、あるべき「仕(じゅう)の掟(おきて)を強調した。宗像さんは、会津若松市に背いてはなりません。教育長を務め、会津が誇るなど七カ条からなり、会津藩校日新館に入学する前の六歳から九歳の子どもが、地域ごとにつくっていた組の規則として守っていた。

## 「仕の掟」藩の基礎に



## 61年度卒 建築科同窓会

渡部敏行 (昭62A卒)

卒業から21年目を向かえ、20年という大きな節目から新たな一歩とすること、初めての同窓会を平成19年9月22日に開催しました。当初、何人の人が参加できるのか?と不安を抱えスタートした準備について、参加を募ることに多くなり、39名の卒業生に対し、22名の参加がありました。担任の神田先生、副担任の渡部先生を交え、21年ぶりの旧友と再会し、多くの懐かしい話に花を咲かせ親睦を深めました。



会津工業高校建築科 昭和61年度卒業同窓会

## 思い出の写真



東京会工会より桜苗木記念植樹 平成17年3月

写真提供: 荒井士郎 (昭34K卒)

写真提供 星 榮祐 (昭16M卒)



グラインダー部 (昭和20年)

写真提供 大堀 順一 (昭27C卒)

サイパン松江春次翁銅像を訪れる会 坂下会工会主催 平成13年4月



元・東京会工会会長、第14代同窓会会長 佐藤勝次氏 喜寿の祝賀会 昭和53年4月

## 会工会総会記念



第五回会工会総会記念 27.14 万代



電子科閉科式 平成14年2月

## 写真人物伝

絵付けの第一人者 坂内文石



会津工業高校の前身である本郷窯業従弟学校は明治28年に創立された。その創設当初から教員となり、窯業の発展と人材の育成に捧げた先生でありました。やきものの絵付けの第一人者。校内に坂内文石氏記念碑が建てられています。

## 校歌作詞 山村弥久馬

明治29年11月に福島県会津尋常中学校長に赴任。四年半在職。校歌制定時の作詞は吉田智・山村弥久馬両先生の名前が併記してあります。





平成十九年度和風会演奏会  
木村 孝 (昭26M卒)  
平成十九年十一月十二日 なかの芸能小劇場  
長年各地で尺八演奏会を開催しています。また、昨年母校の箏曲同好会のメンバーと合同練習をしました。

**目的を達成、解散**  
手代木徳夫 (昭28E卒)  
会津松本市と友好都市を結んでいる中国 荆州市の子どもの学費を支援してきた「荆州市中学生育英会」(手代木徳夫会長)は二十日解散した。農村部の義務教育授業料の無料化が進み、目的が達成されたと判断した。六年間で六百人を支援した。  
福島民報提供

**やきもの指導一筋**  
鈴木 寛長 (昭33K卒)  
郡山市内の各公民館・学校等でやきものの指導。百周年時には、吉田前会長の胸像をやきもので制作しました。  
福島民報提供

**「歩く旅」の記録作成**  
西田 健 (昭50M卒)  
自宅から日本橋までウォーキング  
296キロを34万3121歩  
美里の西田さん 貴重な記録  
会津美里町字松原、旅行プランナー西田健さん(五)は21日までに、同町の自宅から東京・日本橋の道路元(げんげん)まで、歩数を数えながらのウォーキングで完歩した。会津

**八子弥寿男 (昭31C卒)**  
博士の実践後世に  
博士の「貧しさに負けず立身出世を果たしたことに加え、博士に人間的魅力があったからだろう」とその理由を分析する。記念館には、年間を通じて多くの来場者が訪れる。八子さんは「博士が実践した努力と忍耐の尊さを後世に伝えるのが記念館の使命」と話す。  
福島民報提供

**創立60周年記念祝賀会**  
会津バドミントン協会  
60周年祝い競技振興誓う  
県バドミントン協会長 須藤 博 (昭35K卒)  
会津バドミントン協会の創立60周年記念祝賀会は、一日、会津若松市のサンパレスで開催された。会費は、午後、協会のバドミントンコートの大ホールで開催された。須藤会長は、祝辞を述べた。  
福島民報提供

**県内初総理大臣賞、受賞**  
会津漆工伝統工芸士 儀同 哲夫 (昭41L卒)  
若松市 儀同漆器工芸代表の儀同哲夫さんが、本年の全国伝統的工芸品展で、会津漆工芸士としての活躍が認められ、総理大臣賞を受賞した。哲夫さんは、この賞を授けられたのは初めてである。哲夫さんは、漆工芸士としての活動を通じて、会津漆工芸の発展に貢献している。哲夫さんは、この賞を授けられたのは初めてである。哲夫さんは、漆工芸士としての活動を通じて、会津漆工芸の発展に貢献している。

**歩く旅の記録作成**  
西田 健 (昭50M卒)  
自宅から日本橋までウォーキング  
296キロを34万3121歩  
美里の西田さん 貴重な記録  
会津美里町字松原、旅行プランナー西田健さん(五)は21日までに、同町の自宅から東京・日本橋の道路元(げんげん)まで、歩数を数えながらのウォーキングで完歩した。会津

**同郷師弟喜び対面**  
大八木弘明 (昭52T卒)  
東京・大手町のビル街で、大八木弘明(昭52T卒)と小森印刷(現小森コーポレーション)の社員が対面した。大八木さんは、小森印刷で勤務している。大八木さんは、小森印刷で勤務している。大八木さんは、小森印刷で勤務している。



**「男だろ」叫び通算15勝**  
高橋 浩之 (昭52T卒)  
高橋浩之(昭52T卒)は、プロレスリングの世界で活躍している。高橋浩之(昭52T卒)は、プロレスリングの世界で活躍している。高橋浩之(昭52T卒)は、プロレスリングの世界で活躍している。

**「五輪代表」つかむか**  
須佐 勝明 (平15C卒)  
福島民報提供

**アジア予選へ 体調万全**  
須佐 勝明 (平15C卒)  
ボクシングの軽量級で活躍する須佐勝明選手。果敢な攻めで五輪を狙う。  
福島民報提供

**背泳ぎ北京遠のく**  
山口雅文 (平15F卒)  
山口雅文(平15F卒)は、背泳ぎの選手として活躍している。山口雅文(平15F卒)は、背泳ぎの選手として活躍している。山口雅文(平15F卒)は、背泳ぎの選手として活躍している。

**積極的な泳ぎも無念**  
加藤 (S)は準決勝敗退  
女子200m 加藤 (S)は準決勝敗退  
加藤(平15F卒)は、女子200mの選手として活躍している。加藤(平15F卒)は、女子200mの選手として活躍している。加藤(平15F卒)は、女子200mの選手として活躍している。

**新体操部の編曲・作曲**  
藤田 栄一 (昭54E卒)  
ミュージックデザイン  
新体操部OBで華舞翔新体操倶楽部代表山田智史(平成10M卒)さんからの依頼で、新体操の演技中のBGMの編曲、オリジナル曲を作曲した。  
福島民報提供

**技能五輪2位**  
小澤 英人 (平18J卒)  
今回出場しました第45回技能五輪全国大会では、日頃の訓練の甲斐もあり、第2位という成績を修めることが出来ました。これも偏に母校の協力ののおかげだと思います。  
福島民報提供

**「徳一を尋ねて」出版**  
白岩 孝一  
旧機械科職員 白岩 孝一  
徳一に関する文献や八・九世紀の時代背景、古代仏教と会津に入ってきた経緯などを詳細に解説。  
福島民報提供

**福島オペラ協会設立10周年記念公演指揮者**  
高橋 浩之 (音楽)  
常勤講師 高橋 浩之 (音楽)  
福島市で二十二日に開かれる福島オペラ協会設立十周年記念公演で上演される喜劇「こうもり」(J. シュトラウスII世作曲)。  
福島民報提供

**福島オペラ協会設立10周年記念公演指揮者**  
高橋 浩之 (音楽)  
常勤講師 高橋 浩之 (音楽)  
福島市で二十二日に開かれる福島オペラ協会設立十周年記念公演で上演される喜劇「こうもり」(J. シュトラウスII世作曲)。  
福島民報提供

**福島オペラ協会設立10周年記念公演指揮者**  
高橋 浩之 (音楽)  
常勤講師 高橋 浩之 (音楽)  
福島市で二十二日に開かれる福島オペラ協会設立十周年記念公演で上演される喜劇「こうもり」(J. シュトラウスII世作曲)。  
福島民報提供

# 大会新記録で優勝

化学工学科三年 和田 佑貴

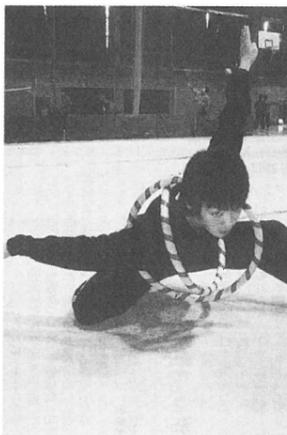


男子種競技 4905点の新記録で優勝した和田佑貴(会津工3年) 開成山陸上競技場

# 全国大会V目指し闘志新た

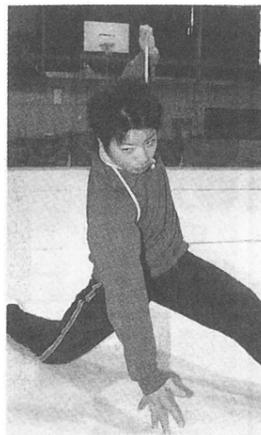
建築科二年 根本 直樹

東北高校新体操選抜大会男子個人総合2位



化学工学科二年 弓田 速末

東北高校新体操選抜大会個人総合優勝



福島民友提供

# 曜変転目茶碗の研究報告と寄贈

陶芸部



宮森会頭(右)に曜変天目茶碗を手渡す山内さんら

文部科学省指定の「目指せスベシヤリスト」事業え二〇〇五年(平成十七)年度から取り組んできた「曜変転目茶碗」の制作法を確立した会津若松市の会津工高は十四日、会津若松商工会議所を訪れ、宮森泰弘会頭に研究成果の報告と作品を寄贈した。

# 3年ぶり優勝

ボクシング部



3年ぶりの総合優勝を果たした会津工の選手 福島民友提供

- ◇ライトフライ級①佐藤光裕(福島明成) △決勝
- ◇フライ級 △決勝
- 菅家 利允 ポイン 渡部 哲也(会津学鳳) ト勝ち
- ◇バンタム級①遠藤智秀(会津工) △決勝
- ◇フェザー級①山内拓(会津工) △決勝
- ◇ライト級 △一回戦
- 熊倉 正敏 ポイン 佐藤 大地(福島明成) ト勝ち
- △決勝
- 熊 倉 ト勝ち 北島 裕喜(会津工)
- ◇ライトウェルター級
- 齋藤 晶 ポイン 阿部 靖社(会津工) ト勝ち
- ◇ウェルター級①斎藤健司(会津工) △決勝
- ◇ミドル級①大堀秀隆(会津工) △決勝
- ◇団体①会津工1点②福島明成③会津学鳳
- (会津工は3年ぶり4度目の優勝)

# 二年連続二紀展入選

セラミック科3年 高橋 克幸



会津工セラミック科三年生高橋克幸さん(右)が二年連続二紀展入選した作品「半信半疑」の制作に当たる高橋さん



会津美里町の「風と土の芸術祭」で「半信半疑」の制作に当たる高橋さん

# 堅実な守り、得点に繋ぐ

サッカー部



自己分析【5段階評価】

攻撃力	3
準備力	3
精神力	4
体力	4
戦術・技術	3

会津魂を持った生徒が多く、粘り強いサッカーが持ち味。堅実なディフェンスで少ないチャンスを得点につなげ、勝利することが目標。強豪ばかりなので毎試合が激しいゲームとなるが持ち味の精神力で勝ち点を重ね、上位進出を目指す。

# 物づくりは人がつくる

松江奨学会理事 松江 宏次



一で、母は手島家の次女であった。手島精一伝に依れば明治の始めの開港に幼くして渡米し、学識を身につけるに及び教育の重大性を知り、日本の後進国憂いを抱き、帰国後文部省の官使となり、教育に情熱を傾けた。

# 「校歌・応援歌・会工賛歌」の歴史

第24代校長 熊田 良治

「会工の教育」誌第34号より転載) 会工創立105年の歴史の中で、85年間に渡り歌い継がれてきた校歌・応援歌・会工賛歌をとりあげたい。

# 1 会工校歌について

(一) 校歌の歴史

校歌制定は、大正11年6月12日(1922年、創立20年目)、作詞は吉田智・山村彌久馬の両先生、作曲は新沼師範学校である。会工百年史によると、大正10年9月、校歌が欲しい、懸賞募集しても作れないとの希望が生徒の間

# 2 会工校歌について

(二) 校歌の解釈

平成18年、校長が国語科の星修一先生に協力を戴きながら、生徒が理解しやすい文体で解説文をつくり、平成19年から始業式や集会で活用している。

手島精一は祖父になるが、私は幼くして面接したと思うが、全く記憶なく、後日、彼の伝記を読み、今日頭に残る彼の信条に『利は里から

生まれる」と信念を持っていた。利は利になる栄国の理由・理屈・理論があり、祖父らしい言葉として頭に残っている。徒弟制から脱皮して学校に進展させたのにも廃藩置県と同様の改革があったと推測される。

校歌論である吉田智先生は、同年3月、旅の列車の窓から、磐梯の霊峰と猪苗代湖の精気に接しつつ会津の歴史を思い浮かべ、豊かな自然環境と深い郷土史に誇りを秘めた雄大な構想を抱き、それを親しみやすい歌詞として、車中で6句3節に纏め上げた。これが今の校歌のもとになっている。直後に川俣工業学校に転動したため、引き継いだのが山村彌久馬先生である。山村彌久馬先生は、大正11年から2年余り教授嘱託として在職し、その時に校歌歌詞を手がけられた。漢字に造詣の深い山村先生は、吉田先生の歌詞を4句4節に格調高く歌い上げ、これが現在の校歌となっている。

※校歌の解説例 ① 嶺は秀づる磐梯山 他より抜き上げて高い磐梯山 水は湛ふる猪苗代 満々と水を湛える猪苗代湖 これ乾坤秀靈の この会津の地は、天地の優れた力や 精気 鍾り成る處

contribution

応援歌には、意気揚々と歌い上げる戦勝歌のA調と、オクターブを下げた敗戦歌のB調がある。年度当初の応援歌練習ではA調のみを練習しているが、同窓会から新入生への入学祝として配付される「校歌・応援歌会費歌CD」には、B調も挿入されている。

この応援歌のリズムは、安積高等学校の応援歌と極似しているが、どうしてなのかその経緯を説明する手立ては今はない。

① 鶏鳴三度の地に鳴いて  
(夜明けのことを指す)

会陽の地の朝ぼらけ

・朱色の鎧を身につけた若武者は、  
(緋緋たる鎧を身につけた若武者は、  
血潮高鳴る胸の鼓動  
血流がわくわくするほど胸が高鳴っている  
(胸がときめくほど)

② おお胸躍る白虎のち血潮  
世々受け継ぎし津魂  
・代々受け継ぎし津魂  
金馬馬は芳草の  
・強固な馬は良い香りのする草の  
(金馬馬は芳草の  
・強固な馬は良い香りのする草の  
(金馬馬は芳草の  
・強固な馬は良い香りのする草の)

③ 今混沌の末の世に  
・混沌して廃れたこの世に  
(混沌・混沌、末世・道義・政治・風俗等  
が衰えて廃れた世の中)  
重き使命はこれなりと  
・自分の重い使命はこれだと  
浮薄の俗を払うべく  
・軽薄で下品な俗世間を振り払うために  
鍛えし選手の腕(の逞しさ)を見よ  
・鍛えし選手の腕(の逞しさ)を見よ  
・鍛えし選手の腕(の逞しさ)を見よ  
・鍛えし選手の腕(の逞しさ)を見よ

④ 淡き憂に暮近く  
・少し心配のうちに夕方になり  
紫紺の夕の鐘の音に  
・紫色の夕刻を告げる鐘の音とともに

⑤ 春 緋乱の花吹雪  
・緋乱の花吹雪の春か  
秋 涼の夕間暮  
・物寂しい夕暮れの秋か  
たゆまず歩みし足跡は  
・たゆまず歩みし足跡は  
今こ彼の地に現われん  
・今こ彼の地に現われん

⑥ 頭張れ応援歌の解釈  
・頭張れ頭張れ 健男児  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達

⑦ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑧ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

唐紅の口を濡る  
・真つ赤な口元から出る  
(唐紅・唐の濃い紅色)  
歓喜のどよめき 聞かまほし  
・勝利の歓喜のどよめきの声を聞かせてほしいものだ  
(試合の結果を待ち遠しく思い、絶対の勝利を確信する内容)

⑨ 春 緋乱の花吹雪  
・緋乱の花吹雪の春か  
秋 涼の夕間暮  
・物寂しい夕暮れの秋か  
たゆまず歩みし足跡は  
・たゆまず歩みし足跡は  
今こ彼の地に現われん  
・今こ彼の地に現われん

⑩ 頭張れ応援歌の解釈  
・頭張れ頭張れ 健男児  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達  
・元気の会工の選手達

⑪ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑫ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑬ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑭ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑮ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑯ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑰ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

⑱ 奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ  
・奮い立て会工の選手達よ

## 会長退任の挨拶

前電友会会長 山口 健 (昭29E卒)

第十三回総会において会長職を五回生の荒明さんにお願ひし、退任いたしました。  
顧みますと、電友会との係わりは、定年退職直後、電気科創立五十周年記念行事の準備会に出席、行事のお手伝いをした事に始まります。その後、第二の職場に勤め、その間の数年は遠ざかっておりましたが、この退職を機に、近くにお住まいの柏森さんに手伝いを申し出て、総会欠席者の近況をまとめたのが最初の仕事で、柏森、手代木両会長の下、通算六年になりました。その間、母校創立百周年行事時の新会員の拡大、電友会創立十周年の記念講演をお願いした保志先生の講演中に新潟中越地震の大きな揺れに驚いた事、最初のハイキング、(十六橋、猪苗代第一発電所、磐梯駅)ワラビやタラノメを探りながら約六キロを歩いた事、会長の任期の問題で紛糾した一昨年の総会などが特に印象的です。

毎年の総会後の懇親会では、顔なじみになった先輩、後輩方と忌憚りの無い話し合いをいつも楽しみにしております。同窓会関係では、役員会他の行事を通じ、学校長、関係職員の方々、会長、役員の方々とも知己を得た事に喜びを感じております。  
電友会の今後の活動について考えている事を記します。  
在校生と直接係られる活動はないかと云うことです。ある会員の方が「電友会」の言葉を聞いた時に、入学した時に先輩と一緒に西城で花見をした事を思い出したそうです。(在校生一年から三年生全員で構成の電友会)そこで思い出したのですが、電友会と在校生の花見はいかが、もちろん酒は駄目ですが、コーラ、お茶になるでしょう。それより秋、大川で芋煮をやるのはどうだろうか。爺さんと孫と一緒に野菜、肉を刻み、一緒に作ったものを一緒に食す。ここで仲間意識が生まれ、話が弾むまでではないかなくとも、話の糸口でもできたら良いと思うので

レクリエーションについてですが、ある雑誌

青春かがやけ 会工つくしく  
③ 挑むころ 無限に広く  
知恵を出し合い 技をみがいて  
さあ創ろうよ 夢をかたちにし  
青春かがやけ 会工たくましく  
会工賛歌は、生徒に分かり易く、歌い易い曲で、「ものづくり・資格取得・文武両道」を推進する会工を象徴する歌である。平成19年度から表彰式の式歌となったことは喜ばしい。次年度には全校生徒に覚えさせ、歌い継ぐ方策が必要と考えている。

## 工業学校の はじまりから

学校資料係 小関 栄助 建築・インテリア科教諭

私は、生徒が自信をもって、声高らかに『校歌・応援歌・会工賛歌』を歌うことができれば、会工の教育の第一歩は達成できたと考えている。そのためには、教員自身が、率先垂範して覚え、生徒に歌わせてほしい。母校への愛校心を育てるには、教員自らが会工を愛することとその出発点なのである。

会津工業高校の創立当時のことを振り返ると、今まで指導してきたことで何か欠落していたような気がしてならない。  
明治10年代前半会津漆器の粗製濫造が問題となりその解決法として、工業学校設立の声が上がりました。しかし、明治10年代後半になり会津漆器改良が行われ一応解決が図られました。企業(漆器関係)の努力によって解決していきま



演壇  
会津工業高校の創立当時のことを振り返ると、今まで指導してきたことで何か欠落していたような気がしてならない。

電を頂戴いたしました。  
氏が会長代行を務めておりました京都府津会からも通夜告別式に、多数の方のご参列を頂きました。

失礼ながらこの紙面をお借りして、志を賜りました皆様へ、厚くお礼申し上げます。  
近畿会工会は、昭和五十九年から暫くの間、活動が停止した時期がありました。この時、若林氏をはじめ元会長や有志の方々が、近畿会工会の再興に向けて種々苦勞された結果、昭和六十三年六月に京都府園部市にて、近畿会工会再興総会を開催する運びとなり、若林氏が会長に選任されました。以来若林氏は、平成十三年三月までの十三年という長期間に亘って、会長として、近畿会工会の発展のために、大変なご尽力を頂きました。正に、近畿会工会の大恩人であります。

ここに改めて氏のご功績に対し感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます次第であります。

## 近畿会工会元会長 若林精二郎氏のご逝去

近畿会工会会長 渡部 藤雄 (昭31E卒)

平成二十年二月十六日の朝近畿会工会の元会長でありました、若林精二郎氏のご逝去されました。

昭和十六年に母校の染織科をご卒業になりました。享年八十八歳でありました。  
ご葬儀告別式は、去る二月十八日、西宮市の「ベルコシティーホール西宮」において厳かに執り行われました。  
近畿会工会からは渡部会長、黒川常務理事、安達会計監査の三名が参列し、通夜には、長谷川相談役、大竹会計監査、石川事務局長が参列いたしました。

同窓会本部からは吉田顧問、梅津会長から生花並びに弔電、東京会工の荒井会長からは弔



総会時にあいさつ  
平成12年6月時

## バレーボールOB会

小柴 俊男 (昭34C卒)

新年を迎えた一月十三日、会津工業高校バレー部OB会五十周年記念式典・総会に出席してきました。懐かしい顔、顔。卒業以来五十年ぶりに再会した先輩や後輩、一つのバレーを追って練習に汗を流し、試合に一喜一憂した青春時代。共に悩み、共に苦しみ、同じ釜の飯を食した仲間はその顔のしわが年輪を刻み、自信に満ちあふれていました。

学生時代のバレーボールの話になると、途端に目を輝かせて会津弁丸出しに話し始め、当時の光景が広がりました。OB会は先輩であり監督、コーチであった故郷島干巴氏と故郷藤原三氏、太田循一郎氏(以下先輩と呼ぶ)が地元で先輩有志と話し合い、バレー部の卒業生を社会に送り出す激励会を行ったことがきっかけで、昭和三十三年に発足しました。以来、OB会長を梅津正夫氏(東北グロリアアガス会長、会津工

は全国でもトップクラスで、会津では会津人が解決しなければ全国探しても何方もいなかったはず。当時、時給は高く評価されていた。本校に期待していたことは意匠です。教官がそのために度々研修に出かけておられます。  
寮業は本郷・川南村を中心に発展しました。当時の研究者は本郷に期待しておりました。愛知県瀬戸以北輸出用の磁器を生産できるのは、本郷焼しかありません。本郷焼を輸出品として大いに期待されておりました。瀬戸から横浜に運ぶには1日、本郷からは約1ヶ月かかります。良いことは原材料の耐久保土は質や良く安かつたことです。また、燃料の赤松は瀬戸から比べる非常に安く、経済面でのメリットが大きかつたようです。職人を大変大切にしていたことも重要です。

染織科はかがであったでしょうか。明治20年代の後半から日本では軽工業中心の産業革命がなされました。それと同時に、政府は綿花関税撤廃により国内綿花栽培は全滅し、安くて良質の綿製品が生産されました。綿織物も生糸の輸出よりは少しでも付加価値の高い物を生産すべく、本校はジャカード織機など最先端の織機を導入しました。工業学校では染織科設備に最もお金を使いました。しかし、地元機業は明治33年頃木綿不況、続いて明治40年代には羽二重不況にみまわれました。残念ながら産業の足腰が弱かった。

現在の会津の状況からみてこれらの産業はいかかでしょうか。染織工業はほとんどありません。漆器関係も窯業関係も海外からの安い輸入品に押され、きびしい状況です。  
工業はものづくりが商売です。それだけで良いのでしょうか。漆工と窯業がしっかりしていたのは問屋です。問屋の経済力です。工業技術史は経済学の書籍に載っています。工業は経済学の一分野です。このままのものづくりとしてそれだけしか教えなければ、子供たちは階層化社会の下の方になる虞があります。そんな気がしてなりません。

高い技術を身につけ、作ったものをお金と交換する経済感覚が必要です。高い技術は他が出来ないものを作ることで、さて工業の教科では「デザイン技術」のマーケティングの指導を欠くことはできません。

業同窓会会長、落合和夫氏、大越一郎氏と代々引き継ぎ、伝統を守ってきたことおかげで、この日の素晴らしい感動に出会うことができたのです。そこには、福島先輩をはじめOBの方々がバレーボールを通して指導されてきたことが、後輩の中に息づいているのを感じます。肩を抱き再会を喜ぶ者、手を握り涙を浮かべ亡き友を悼む者、さまざまな思いが入り交じっていました。会津工業高バレー部という血管の中を、代々のOBが血液となって後輩たちに脈々と流れ、伝えられているのを感じられます。  
そもそも私とバレーボールとの出会いは義兄である故三橋勉の勧めからで、義兄も伊藤先輩や太田先輩とともに福島先輩の指導を受けた一人でした。福島先輩は自分の仕事が終った後、毎日指導に当たられておりました。そのころのバレーボールは九人制の屋外スポーツで、真つ黒に日焼けした肌はスライディングでボールに飛びついたら汗とほこりで泥まみれとなり、生傷は絶えることがなく、擦りむけたところに付けられた赤チン、ヨーチンの跡が誇らしくもあつたのです。  
当時の先輩方は「けがをするような転び方はすんな」と言っておられるのを「横に飛んで来たボールは飛びついて転がれ」などと指導していただきました。まだ回転レシーブなどカッコ良い呼び方はなかった時代です。福島先輩は左肩が下がった体でヒョンヒョンと軽快に跳びはね、ボールを投げてきたのが印象的でした。体は細くミイラが歩いてくるようでしたが、眼光是鋭く優しさがあがり、何よりの温かい方でした。伊藤先輩には伝統と思ひやりの心を、太田先輩には目標を達成する心構えと努力の必要性を教えられました。  
当時の合宿中、太田先輩に「おめえはフラスコサーブは入んネエだからセカンドサーブで、エンドライン、サイドラインの上を狙え」と言われ、それはかなり練習させられたのが記憶に残っています。その時の皆の合言葉が「オンザラインの上」でした。その成果が新人戦で花開き、逆転優勝した思い出があります。  
今回のOB会では先輩や後輩、同級生とそれぞれ思い出話を咲かせ盛り上がりつつありますが、胸の中は皆涙でぬれていたことでは

う。OB会を開催して下さった方々への感謝の気持ちとともに、バレーボールをやったという思いで、帰りの車中では一人大声で校歌や応援歌を唄いながら帰ってきました。

## セラ友会に期待

前セラ友会会長 坂場 恒雄 (昭34K卒)

セラ友会も平成11年の第1回設立準備から、平成12年7月5日の設立総会を経て、今年で第9回を迎えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。

初代会長「坂内茂男様」が総会直前に体調を崩され突然総会欠席となり、何とか役員全員で乗り切ったことを思い起こしております。当地会津では、不景気の上にも公共事業費の削減で、土木建設業をはじめ、地場産業の漆器業界、酒造関係、観光業界にも倒産が続出してあります。そして、都会と地方の所得格差は益々拡大し、政治の不景気も高まり、さらに追い打ちをかけるように、最近の原油高による物価値上がりで、先行きの生活も不安で、展望もない昨今です。

今年度から母校のセラミック科も少子化の影響で、セラミック科と化学工学科が統合され、セラミック化学科となり、定員40名で新しくスタートを切りました。前会長坂内さんが2期4年間を勤め、その後、私が2期4年間会長としての任務を果たしました。

一時は、設立10周年記念までと思いましたが、新セラミック化学科の卒業生が2年半後には、セラ友会に入会できるよう規約改正も行いましたので、前会長同様2期4年で職を辞し、次期会長に10周年行事をすべてお任せすることを決心しました。

4期8年に渡る副会長・会長の任期中は、役員および役員の皆様には、本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。セラ友会も今では全ての面で建友会に次ぐ規模になり会報発行、本校セラミック科への支援活動を行って参りました。さらに過去三年間ではセラミック科が文部科学省指定の(目指せスペシャリスト)事業、天目釉茶碗の研究成果など、各方面で高く評価されま

したことはセラ友会として誇りに思います。今後は、一会員として大いに協力し、会の発展に寄与したいと思っております。新役員の方にも、私同様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。今後のセラ友会の益々のご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げます。本当にありがとうございます。

## 建友会と建築環境

建友会会長 小山 源昭 (昭38A卒)

建築科卒業生で組織する「建友会」は、毎年2月に総会・懇親会が開催されています。本会は地元会津はもとより、県内外の会員に、母校の先生方と同窓会・PTA・代議士・市長・財界・賛助会とゲストの多い集いです。電友会、機友会さん他と比べ、建築科は進路と仕事が定まり安く、社会人となり仕事により会員同志の連携と絆が強い、特徴ある組織と言えます。早いもので、建築科卒は60回を迎え、第1回卒の先輩は77才となりました。卒業回数が増せば比例して総会出席が増える訳ですが、ここ何年も変らなく、むしろ減少気味です。

改めて理由は何か考えさせられる要因があります。20世紀後半、右肩上り経済成長期の建設産業は、大人たちの勝手な都合と欲望により街を壊しビルを建て、山野自然を壊しリゾート施設を造ってききました。今更ながら当時の感覚は、錯覚と驕りの時代であり、あたかも建設産業が世の中を仕切っているように思っています。傲慢なものだったと思います。あぐけくのは「建築そのものが環境汚染源」となってしまう、地球規模の問題となり大騒ぎとなっています。経済産業的にもそれらの過ちに気付いても既に遅い。とりかえしつかない結果となり、特に地方の建設産業不況は悲惨な低迷が続いています。建友会への影響と因果関係を考えます。当時の「花形」とまで言われた建築関連業は隆盛を極め、建友会も便乗し、慢心してたと思います。反面会員同志の絆は強力でありました。その後21世紀に入り、先輩たちは第一線から退きリタイヤし、総会出席会員の年齢差が広がり、先輩たちと構築した伝統と特徴を継承

するには穏やかでありません。年齢差が60年もあれば人生感、社会生活感の格差はあってあたりまえです。これからの「ふるさと会津」を、そして日本を導く若い後輩諸君に所見を言わせて下さい。

日本の社会生活環境は、何かと言えればIT情報化、ハイテク化、ネット社会の世の中です。吉本興業タカアンドトシが「欧米化？」を流行ことばにしました。IT情報化現象の必要性は否定しません。しかしなぜそんなに重要視するか疑問に思えてなりません。

著名な多くの学識者が「IT社会環境は、今の日本を駄目にしてしまふ危険性がある」と言い、更には「日本人の心まで狂わせている危機である」と言っています。決して大袈裟でなく貴重な提言だと思います。

ハイテクも必要ですが、それよりローテクを重要視して頂きたい。職場のデスクでパソコンに向いじつとしている風采を見るたびに考えさせられます。これらの職場環境が社会を支えりードするよう「錯覚」を改めたいのです。今頃になり国民、政治家、学者「日本は世界に誇れるものづくりの国である」と言っています。まさしく母校は「ものづくりの技能と技術の学校です。有名大学や大手企業に進む道もあるでしょう。私が在校生と卒業した若い人に望むことは「お礼口さん」でなくとも結構、皆さんでの特長をもち、アクティブな行動力を備え、これからの人生、社会生活を送って頂きます。

野球ではヒットの延長がホームランと言われます。オンリーワンが進化すればスペシャリストの可能性を秘めているのです。歴史と伝統ある会津工業での学びに自信を持ち誇り、これからの元氣な会津、元氣な日本へと導いて頂きたい。そして社会生活に欠かせない多くの人間関係と人脈をつくるため、建友会そして同窓生にも積極的な出席を待望することを選び、寄稿といたします。

## スキルとライセンス

学校評議員 坂内 美佐子 (昭50C卒)



50歳を過ぎてから転職しましたが、その際役立ったのが、在学中に取得した危険物でした。当時高校在学中でも受験資格があったのが、丙種ライセンスがなければ、採用のチャンスを得られませんでした。面接までも進めません。経験だけの場合は「特技」で終わってしまいます。

たと言え、経験があっても、書面上ではライセンスがなければ、採用のチャンスを得られませんでした。面接までも進めません。経験だけの場合は「特技」で終わってしまいます。

決して資格取得に積極的な生徒ではなかったのですが「将来役立つから、持っていたても邪魔にはならないから」と勧めていただいた先生方のおかげです。

合格に向けての指導もしていただきました。当時の先生方に感謝いたします。その後にも資格を取得しましたが、在学中にチャレンジする意欲と合格のコツを教えてくださいました。3年時には「水質関係公害防止管理者」を受験しました。

工業化学科、化学工学科の生徒が受験地の仙台市の仙台育英高へ先生方の引率で修学旅行のように行つたことが懐かしく思い出されます。私の結果は不合格でしたが、2種・4種は合格した同級生もいてすいぶん悔しい思いをしました。就職した会社が公害管理者受験を進めていたので、再挑戦しましたが、甘く考えていたので、また落ちてしまいました。「高卒では無理」と考えられていた中で、普通高校出身の女性が一回で合格し「会工卒」のメダルつづぶれでした。その後、一年間本気で勉強し一種合格できま

## 東海会工有志による「味覚の旅」

東海会工会幹事長 二井 正春 (昭41A卒)

岐阜県は長良川と木曾川が通っており、愛知県に抜けて、名古屋港の入り江となり、伊勢湾にそそいでおります。

木曾川沿いの愛知県犬山市には、日本モンキーパークがあり、又「木曾川犬山鵜飼開き」は毎年六月一日から行われています。又、長良川沿いの岐阜県では、五月の中旬から「ぎふ長良川鵜飼開き」を開催しております。双方とも屋台船に乗って鵜が、鮎を捕まえる様子を見学しながら食事をして、お酒を飲みながら、鑑賞できる風情があるところで、有名な場所でもあります。

今回は、長良川の上流まで足を伸ばして板取川、せせらぎを身ながら、天然の鮎を食べ、秘境温泉で癒すという企画を、計画いたしました。

名古屋から東海北陸自動車道を北上し、美濃市インターで降り、長良川の上流の板取川沿いに北へ、約三十キロほど車を走らせて行くと、洞戸村に着きます。この村にある高賀神社には、シドニーオリンピックの女子マラソンで優勝した高橋尚子選手が、優勝したときに飲んでいたという「高賀の神水」を汲むことが出来ます。当時の森総理大臣がこの神社に来社された写真が、掲示されています。さらに北上し、通称「アジサイロード」を三十キロほど行くと、関市板取町に着きます。目的の天然の鮎を、食べさせてくれる、天然鮎料理「川の網元「おもだか」が私たちを待っていてくれました。今回は家族同伴で企画いたしました。



したが、自己採点では各項目ともボーダーラインに達し、奇跡としか思えません。一緒に受けた社員には「俺より総得点が少ないの」と、羨まれました。今では、乙種の高にも多くの資格に挑戦できる、生徒のみならずも在学中に出るだけ取得することをお勧めします。社会に出てから勉強する時間を作ることは大変困難です、講習の代金も高額だったりします。

卒業してから身にしみて分かったことは、何事もチャンスを掴むには、自分が行動を起こすこと！

待っているだけでは、何も変わらない！ライセンスは無駄じゃなかった！スキルを証明するのは、ライセンス！先生の指導は、今でも無料です！

## 同窓会名簿・会報を発刊して

①沿革

- 明治35年 福島県立工業高等学校設立認可
- 明治37年 業業徒弟学校・漆器徒弟学校を廃し本校に併置し入学式を行う。創立記念日とした
- 明治38年 第1回卒業式をおこなう
- 明治39年 第一回製作品展覧会を開催
- 明治40年 同窓会としての組織ができる
- 大正11年 校長が学校長が兼務
- 大正12年 校歌の制定・校章「福工」に鶴を記す
- 昭和4年 校旗ができあがる。同窓会PTA学校
- 昭和9年 創立25周年 福島県立会津工業高等学校となり現在の「会工」に鶴を記す
- 昭和10年 故坂内文三郎先生顕徳碑除幕式
- 昭和16年 創立30周年。奉安殿竣工
- 昭和23年 創立35周年。松江記念館並びに松江氏胸像竣工
- 昭和24年 白線3本を巻く
- 新制高校 第一回卒業式

## 雑感

坂井 健 (昭42K卒)

昭和42年に薬業科を卒業して、いつの間にか40年以上の歳月が流れました。今から5、6年前までは時々、当時の夢を見ていたが、この頃ようやく見なくなりしました。

見なくなったと言ったことは、縁が切れたのか、見なくなったが卒業の年か？夢を見ていた自分は60歳の歳であったも、いつまでも当時の歳だから不思議です。私の父が生前、「俺

今だに兵隊時代の夢を見るんだぞ。」と言って

いたのを聞いたことがありました。兵隊時代の夢はいつも辛かったことばかりだそう。私も夢を見ていたときは決まって、マイナスイメージのシーンばかりが多く、プラスイメージのシーンは出てきません。会報執筆の依頼を受けて、冒頭からこんな事を書くのはいやですが、あまり好かつた事が思い出せないので仕方があります。

卒業してすぐに店の跡継ぎとして表具と額縁の修業をしました。高校時代を振り返って考える時、薬業科で3年間習ったことが今の仕事に役に立っているかどうか判りませんが直接には役に立っていないにしても間接的には、どこかで役に立っているような気がします。例えば、額縁を作るのに完成予想図や製図を描くのに役に立っています。同じく屏風を作るにだってそうです。また、古美術・骨董品、特に陶磁器の鑑定にも少し役に立っています。でも本命は、3年間勉強したことによる科学的な思考手法(少々大げさ、いや大げさ)が身に付いたことかも知れません。

今から18年前頃から、それまで趣味でやっていた絵画を地方展や全国展に応募して、少しなりとも認められるようになってきました。この事は3年間の学生時代の勉強とどんな関係があるかどうかは解りません。高校を卒業して何度となく母校を訪れる機会があり、その当時の先生はいなくなっても懐かしい感じがします。ビジネスで第一回目を訪れた時は帰るとき体育館で講演、校舎を覗いて見ました。学校なんて無味乾燥で何が良いか解りませんが、ここで昔、汗や涙したという郷愁ですかね。やはり母校です。薬業科の科務室の雰囲気は当時のままです。梨子本先生にお茶のもてなしをしていただき「ああー俺も社会人になったんだ」とその時は思いましたね。昔のいやな思い出が吹っ飛び嬉しかったんです。

今、改めて昔見なかつた事が見えてきました。60才になるおじいちゃんですが気持ちは若いつもりです。また寄せて下さい。これからもお世話になります。宜しくお願いいたします。(投稿後逝去されましたので原文のまま掲載させていただきます)

- 昭和28年 初めて同窓生より会長になる・秋山寛二氏  
 昭和29年 創立50周年  
 昭和32年 現在の『會工旗』を制定  
 昭和36年 鈴木善九郎翁胸像除幕式  
 昭和39年 会工プール竣工式  
 昭和40年 創立60周年・北体育館竣工  
 昭和46年 創立70周年  
 昭和57年 創立80周年・校歌除幕式  
 会工会館竣工(現・柔剣道場)  
 創立90周年・会工トレーニンングセンター竣工  
 平成6年 『所蔵作品』『染色型紙』図録2部出版 松江講堂取り壊し  
 創立100周年・同窓会館『鶴翔会館』竣工  
 平成14年 沿革誌『会工百年史』発刊  
 平成16年 同窓会会報2005より協力金募金実施  
 平成17年 『松江賞』復活 前同窓会会長・吉田一榮氏の胸像建立除幕式  
 平成18年 『和太鼓』を贈呈・披露式 松江奨学会理事會開催  
 平成19年 『同窓会賞』新設 応援団旗寄贈  
 平成20年 『同窓会』新設 応援団旗寄贈

②同窓会のあゆみ  
 本校は明治35年(1902年)9月に福島県立工業学校として設立が認可され、昭和4年福島県立工業学校改称「会工」と改称しました。その後、戦後の学制改革で、昭和23年に新制高校「福島県立会津工業学校」となり、現在に至っております。平成17年3月1日には記念すべき卒業総数2万人目の卒業生を各地域に送り出しました。  
 同窓会の歴史は古く明治40年3月、100人以上の前から組織として設立してまいりました。当初は学校長が会長を兼務して運営されてきたのですが、戦後、昭和28年5月、東京在住の会員のほうが後輩の面倒をみる気運が高まり組織を改編し新たな同窓会としてスタートすることになりました。この時の会長は秋山寛二氏(大正11年・応用化学科第3回卒業)でした。同年に若松会工会が発足し、その後東海・近畿・福島・郡山・坂下・猪苗代・湯川・西会津さらに各職域・各科修養会等の組織が出来上がり現在に至っております。

先ほど申しましたように、当初は東京在住の方が組織運営を行っていましたが同窓会が母校との関係を密にしていかなければならぬと、昭和54年に地本会津より会長を選出しなければならぬと大幅な組織を改編いたしました。この時に会長に選出されたのが前会長の吉田一榮氏(現在は名誉顧問)第15代であり、現在は第16代梅津正夫氏(昭和32年染織科卒)であります。  
 平成19年の現体制は顧問2名・会長・代表副会長・副会長15名(各支部会長と各修養会)幹事長・副幹事長3名・幹事48名(うち女性3名)・会計2名・監事3名事務局13名の総勢89名で運営・活動して母校との架け橋となっております。  
 ③校歌の制定・校章の変遷・校旗の制定由来  
 校歌の制定 原作は大正11年3月、磐梯の霊峰と猪苗代湖の浮かべながら、六句三節にまとめられたものを同先生の転任後、山村弥久馬先生が更に推敲されたものを、校内の委員と協議のうえ校歌として制定した。作曲は新潟師範学校に依頼してなったものである。  
 校章の変遷 創立当時は、円形で福島県に因み福寿草の両側に「工」をいれたものでした。次に若松の松ヶ枝を「業」の字に擬し、中央に「工」をいれ、さらに大正11年4月には学制が5年たったものを機会に「福工」の二字に、鶴ヶ城の鶴を配したものに改めた。現在のものは昭和4年4月校名新たまると同時に「会工」に改められる。校旗の制定由来  
 創立二十周年記念事業として、同窓会・職員・生徒等の共同によって出来た由緒のあるものである。  
 ●百年記念歌『会工賛歌』  
 平成14年に百年記念事業の一環として記念歌をつくりました。作詞は本校生徒の応募による。補作として会津若松市と会津高田町の方および本校セラミック科の佐藤正道先生の三人の方にお願いし、作曲は会津若松市出身の鉾山亘氏に依頼し出来たものである。

④各科の略号  
 平成20年4月の新入生より次ぎのような各科の略号となり、国際化にあわせて統一した呼称に改定されます。  
 A 建築インテリア科：ARCHITECTURE INTERIOR  
 C セラミック化学科：CERAMIC CHEMISTRY  
 M 機械科2クラス：MACHINE ELECTRICITY  
 E 情報技術科：INFORMATION TECHNOLOGY  
 ⑤最近の活動状況  
 平成14年に学校創立百周年記念式典が盛大かつ厳粛に行われ新たな歴史がスタートいたしました。また、その他の事業においても滞りなく、すべての事業を終わることができました。記念事業のメインである同窓会館『鶴翔会館』においては、毎年1500名以上の利用があり各方面より好評を得ております。その後の活動としては会工百年史の発刊、東京会工会の母校への校苗木の植樹、松江賞の30年ぶりの復活、松江春秋翁・鈴木善九郎翁の胸像修復、サイパンからの短期留学生の受け入れ、サイパンにある松江春秋翁の銅像を訪ねる友好の旅への参加、鶴翔会館改修工事竣工、そして前同窓会会長(松江奨学会理事長)吉田一榮氏の胸像建立、和太鼓寄贈、同窓会賞の新設などがあります。  
 ⑥がんばっている同窓生  
 スポーツ 芸能 画家 書家 彫刻 政治家 財界・教育界の多方面に活躍しています。その中でも、前同窓会長・吉田一榮氏であります。氏は、昭和20年卒業後現在の東京大を卒業。母校の教員として2年間勤務の家庭を継ぐために退職され、昭和48年からPTA会長として7年間、会長職として25年間と計34年間を母校の発展にご尽力されました。その間、80周年・90周年・百周年の実行委員長として会を統率してまいりました。

## 出会いと感謝

梨子本 傑 (昭41K卒)  
 私は、県立会津工業高等学校セラミック科の前身である窯業科を昭和41年に卒業、地元の子関係の企業へ就職し6年間勤めてまいりました。その間、製造全般・研究室での各種試験・技術開発・焼成関係に携わり窯業技術者を身につけることが出来ました。その後恩師の勧めで母校である本校の窯業科の教員に採用されて以来36年間窯業・セラミックを一筋に携わって、今年3月退職し現在に至っております。  
 企業での6年間に窯業技術に関する国家資格(熱管理士・ボイラ・危険物等)に挑戦し、『熱』に関して興味関心をいだき、そこではじめてボイラとの出会いがありました。この経験をきっかけとし、当時はあまり本校では生徒への各種資格に対する意識があまりありませんでしたが、工業高校であれば必ず必要であると思いましたが、指導してまいりました。3年後には全校生徒を対象に指導したことにより、校内での資格に対する意識をもたせることができました。それ以来、今年3月まで30数年3000名以上の生徒を指導する事により平成7年はその実績を認められ福島県ボイラ協会より感謝状を頂いております。この受賞は教員では2人目と聞いております。大変名誉なことと感謝しております。  
 一方、窯業技術に関しては、企業での経験を生かして各種講座、関連の企業見学を自らすすんでおります。



左から右へ、卒業生、教員、在校生らで撮影された写真。

すんで受講し専門の技術を学びました。そのかえりあつて、平成元年には学科改編が行なわれた前後には全国窯業教育研究大会が会津にて開催され、その場に研究発表をおこなひ、その成果によりセラミック科の設備を充実することが出来ました。さらに、平成4年には電気科・機械科・化学科の先生の協力によりマイコン温度制御による自作の電気炉を作りセラミックコンデンサーの試作をしました。このテーマは県代表として東北情研で発表することになりました。また、平成8年にはセラミック超電体の製造法を、全国のセラミック科設置校でいち早く取り入れ全国窯業教育研究大会において成果発表も致しました。その後、技術指導・公開もしております。3年前より文科省『目指せスペシヤリスト事業』の研究指定である『曜変天目茶碗の制作をおしたスペシヤリスト育成への挑戦』のテーマを、常々思っていたものを採用されセラミック科を中心に校内組織を立ち上げ全学科をあげてこの研究に取り組んでその成果を発表を2月22日に盛大に行われ終了することができました。また、文部省主催の科学助成奨励研究に3回応募し、常に窯業・セラミック技術を身につけながら生徒へ指導し科の設備充実に進んでまいりました。  
 一方同窓会関係では、自分の母校であるので18年前より本部同窓会の事務局の一員となり、同窓生と母校との橋渡しに現在にいたっております。その間、学校創立90周年・100周年の実行委員・事務局として同窓生を取りまとめました。その間『松江賞』を30年ぶりに復活したことや昨年度新設の『同窓会賞』です。さらに各支部旗の充実や前同窓会長の胸像建立、サイパンからの研修生の受け入れ、和太鼓寄贈、応援旗の寄贈等も行ってまいりました。  
 これらの事を考えたときに、いろいろな人に出会い達成できたと思えます。その人たちのすべてに感謝申し上げたいと思えます。  
 最後に、本会が益々活発な組織運営がなされることを祈念申しあげまして退職のごあいさついたします。ほんとうにお世話になりました。



和太鼓集団「翠鼓」の演奏風景。

## 会津の太鼓ぶち

会長 江花 光泰 (昭31L卒)  
 平成3年(1991)に北会津村公民館主催の和太鼓教室で知り合った太鼓好きが、翌年、和太鼓グループ「響」(ひびき)として発足、地域のイベントに参加、荒館小学校体育館に練習を重ねるなか少しづつメンバーが増えてきた。平成10年に至り和太鼓を通して新しい地域文化の創造を目指して、和太鼓集団「翠鼓」(すいこ)を立ち上げた。  
 太鼓が好き、人が好き、和を大切にすることを中心に掲げて、会員相互の親睦と個人の生涯学習の場とする中で、女性パワーあふれる主婦を中心に小学生から大人まで25人あまりのメンバーが会津若松市北会津町を拠点に集合している。  
 音にかかわる日本の伝統文化を掘り起こす創作和太鼓奏者・舞台創造集団リーダー北原永先生にご指導を頂き、北会津をイメージしたオリジナル曲「BANDAI」などを中心に研鑽に励み、同時に地域小学校「和太鼓クラブ」と会津若松市公民館生涯学習事業「和太鼓教室」

## 卒業生に贈ることば

電友会会長 荒明正義 (昭30E卒)  
 ご卒業おめでとうございます。  
 この度、卒業にあたり保護者の方々のご理解によりまして卒業生全員が「電友会」にご入会いただけましたことにより感謝申し上げます。  
 「電友会」は平成七年六月に電気科創立五十周年を記念して設立されました。会員は電気科の卒業により構成され、会員相互の交流と親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的としています。  
 どうか、新入会員の若い考えと活力を「電友会」に吹き込んで下さるようよろしくお願い申し上げます。  
 電気科の卒業生は今日まで二千七百余名にのびます。先輩の多くは電気技術者として国内外、各分野で活躍され、輝かしい業績は会津工業高校電気科の名を高めております。  
 同窓会の組織を簡単に説明しますと、母校には「会工同窓会」、地区には「若松」「東京」「東海」「近畿」「福島」「坂下」「猪苗代」「西会津」「湯川」の会工会があります。また、科には「建友会」「電友会」「機友会」「セラ友会」「美術会」が設立されております。その他、事業所として「三菱伸銅鶴友会」「北芝会工会」などがあります。

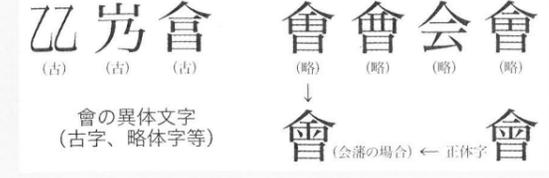


同窓会創立50周年記念式典の模様。

同窓会は、校歌の一節にある「明治三十七春なかば」、明治三十七年四月十五日に第一回入学式を挙行し、校友会の会則を決めております。  
 同窓会と同級生の組織を織物にたとえれば、同窓会は縦の糸、同級会は横の糸として明治から今日の平成まで百年有余、いつまでも続いて絶えることはありせん。  
 私は、昭和三十

## 「會」の字について

会津方部県立学校退職校長 元会長 大竹 正容  
 以前から校章等における「會」について調べてみようと思っていたところに、退職校長会長大竹正容氏にお話をしたところ調べていただいた事を参考まで掲載させていただきます。校章等における「會」の字について、「異体字」であろうとおきまして、その後少し調べてみたと思ひ、資料などを漁ってみました。最近になって、「異体文字解説辞典」(柏書房)¥2000のなか(P.33)にその字をみつめました。ご参考までにその部分だけを以下に略記しておきます。  
 また、古文書などでの「くずし書き」の會は、「古文書字典」(柏書房)や、「入門古文書小字典」(柏書房)、「古文書くずし字一〇〇選」(柏書房)で見ると「會」のくずし字となつていきます。  
 勿論校章の會の字は会津藩(會藩)かいはん)の旗印に由来するものですがから(會高)、会工(恐らく会女の場合も)の学校の印しとされているわけでしょう。それは会津藩の歴史の流れという意味のほかに文字「會」の左右対称であるシンメトリーというデザイン的美学的効果も当然考慮されていたらうと思ひます。





離任式の様子

文部科学省指定 地域産業の担い手育成プロジェクト  
 経済産業省指定 工業高校実践教育導入事業  
 Aizu Monozukuri Manpower Development Project

平成19~21年度会津ものづくり人財育成事業  
 ~ものづくりあいつに宣言21~

**会津工、喜多方工を指定**  
 経済産業省と文部科学省が、19年度から21年度までの3年間で、全国的に「ものづくり人財育成事業」を実施する。その中で、会津県は、喜多方工業高校と会津工業高校を指定する。指定された学校は、地元企業と連携し、実践的な教育を行う。また、地元企業に就職した卒業生に対して、奨励金を支給する。この事業は、地域産業の発展と人材育成に大きく貢献する。指定された学校は、地元企業と連携し、実践的な教育を行う。また、地元企業に就職した卒業生に対して、奨励金を支給する。この事業は、地域産業の発展と人材育成に大きく貢献する。

インターンシップ



1年生全員

**難関資格・検定を突破  
 ジュニアマイスター顕彰**  
 平成19年度 ゴールド8名 シルバー20名  
 各種国家資格や検定の取得を点数化し、全国工業高等学校長協会が30点以上にシルバーの称号、45点以上にゴールドの称号を授与。毎年好成績の本校では、2006年度に108点の高得点者が卒業。

2007 東北大会優勝・全国大会出場  
 ものづくりコンテスト



二瓶和哉

The Present Condition

進路指導部から

村田光夫



本校創立以来2万数千人の卒業生を輩出し、先輩方は各方面で活躍している。特に卒業生の多くは、ものづくりに携わる仕事に就き、年を追うごとに重要な仕事に任されるようになってきている。進路指導室で来校者の対応の中で、諸先輩たちの活躍を耳にするとうれしい限りである。今話題の離職率についても、3年後の離職率が平均50%を超える世の中であっても、工業高校は、20%代に落ち着いている。この背景には、先輩方とのコミュニケーションや相談、連携などがしっかりとれているからだと思われる。さて、企業からの求人件数は、最低だった平成15年度の362件から平成19年度は、1166件と3倍以上の大幅な伸びを示している。それでも平成3年度のバブル絶頂期の2580件の約半数である。約半数と

は言っても、就職希望者数約180名からすると1人あたり6件以上の求人があるということになる。非常に恵まれた環境である。今年度もさらに求人が増える予想にある。早期退職者などのミスマッチを起すことなく、こういった恵まれた環境に甘んじないで進路指導をしていかなければならないと、言うことを肝に銘じている。

会工の昔からの特徴は、県内(地元)就職者が少なく、県外に多くの人材が流れてしまうことである。この背景には様々なことが考えられるので、一概には言えない部分がたくさんある。今年3月の卒業生の進路状況は、県外就職者が88名、県内(地元)就職者が79名であった。県外就職者の中には、本県が県外にあって勤務は県内ということもある。88名よりは若干少なくなるが、それでも就職希望者の約半数が県外に流れていってしまう。優秀な人材が県外に行ってしまうことに懸念を感じ、今年度は新たな計画を立てた。それは、地元企業を多くの生徒に知ってもらおうと企業説明会なるものを開くということである。それにより、一人でも多くの生徒が地元に残ることを期待している。日程は、求人活動が解禁になる7月なので、その結果については来年のこの紙面で報告したいと思う。今後、生徒の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいく所存である。これでも卒業生であるO Bの方々の変わらぬご支援をお願いしたい。

創立記念講話

箱根駅伝と選手育成  
 日誌：平成20年4月15日(金)  
 場所：南体育館  
 駒澤大学陸上部監督 大八木弘明 (昭52年繊維工業科卒業)



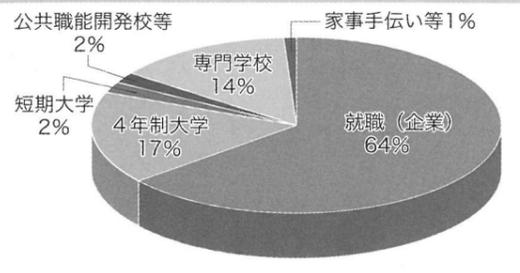
努力の大切さを伝えた大八木監督

「目標に向かい努力を」  
 大八木陸上部監督

母校の会津工高で講演

会津若松市河東町出身の役所に勤務しながら駒沢大八木弘明陸上部監督が22日、母校の会津工高を視察した。出勤前や昼休みに、後輩の活躍の大切さを伝えた。同校が4月15日の創立記念に合わせて、大八木監督は講演した。大八木監督は、選手育成の大切さを伝えた。同校が4月15日の創立記念に合わせて、大八木監督は講演した。大八木監督は、選手育成の大切さを伝えた。同校が4月15日の創立記念に合わせて、大八木監督は講演した。大八木監督は、選手育成の大切さを伝えた。

平成19年度 求人件数 1166件



	合計	小計	情報技術科	電気科	機械科	化学工学科	セラミック科	建築インテリア科
卒業生数	276	276	39	39	79	39	40	40
就職	176	県内	7	9	31	10	15	7
		県外	1	1	21	17	11	13
		公務員	0	0	2	1	0	0
進学	54	4年制大学	18	6	11	4	4	8
		短期大学	0	0	2	1	0	1
専門	43	公共職能開発校等	0	0	2	0	0	3
		各種専修学校	3	3	10	9	8	5
		進学未定	1	1	0	0	0	0
家事手伝い	1	1	0	0	0	0	1	

講師：1958年7月30日生まれ 現在の会津若松市河東町出身  
 高田第一中学校(現在の高田中学校)、県立会津工業高校繊維工業科卒業後、小森印刷株式会社(現：小森コーポレーション)に就職。川崎市役所で働きながら24歳で駒澤大学経済学部二部に入學。学生時代の箱根での実績は3回出場で2回の区間賞。卒業後はヤクルト陸上競技部に選手権コーチとして入社。1995年にはその指導力を評価され、駒澤大学陸上競技部のコーチに就任。チームの立て直しに貢献し、「常勝軍団」として箱根駅伝で活躍する。2002年に助監督。2004年に現在の監督に就任。指導者になってから、箱根駅伝では4連覇を達成。通算6回優勝。全日本大学駅伝でも7回の優勝を誇る。教え子には世界陸上男子マラソン出場経験のある藤田敦史、西田隆雄などがある。

# 栄えある「松江賞」受賞!!

## 『松江賞』復活の趣旨

明治政府誕生から幾星霜、時に新政府は磐石の礎を築きつたりありましたが、木綿製品と砂糖とが輸入額超過となり、為に国産化を進めることが焦眉の急務となりおりました。その時、松江春次先生は東京工業学校(現・東京工業大学)卒業後、いち早く砂糖に着目してその国産化に挑み、南洋興発会社を設立され大成功をおさめられたのです。

昭和14年、松江春次先生は当時の国際情勢に鑑み、機械工業の重要性を痛感し、私財33万円を本校に寄贈されました。

本校では寄付金によって機械科を設置し、校舍正面を二階建てに改築し、更に北体操場、現在の水路の場所から北の建物全部と、松江記念館(旧図書館)そして松江講堂(現在の鶴翔会館の跡地)を増設したのです。

当時の33万円は今の金額に換算すれば数億円の大金になるといわれています。うち10万円は財団法人・松江奨学会の貴基金として、これから生じるの利をもって本稿の施設設備の充実にあてました。また、昭和39年度より各科の優等生の褒賞に活用し、松江賞の制限を設けました。資金の面で昭和60年代には消滅しました。しかし、昨年より社会情勢の関わりからマスクにも取り上げられ松江春次先生の功績や精神が再び注目を集めることになりました。

戦後60年、先生の本校に寄せられた数多くの業績を、本校機械科の生徒のみならず、全校生徒が感謝の念をもって讃え、同時に、その思いに報いるため優れた技術者になることを誓うものです。この趣旨に沿って『松江賞』を復活し、永遠に先生の功績を讃えるものとします。

## 受賞者に聞く

### 平成19年度松江賞受賞卒業生

電気科 阿部 晃士(代表)



私は、今回松江賞を受賞することができ、三年間努力してきたことが認められ大変嬉しく思います。

学業と部活動の両立は、入学した時からの目標であり、周囲の人たちの存在がなければここまで頑張ることができなかったと思います。

学業においては、ライバルがいることにより、常に上を目指し、自分を高めて頑張りが続けたことができた。

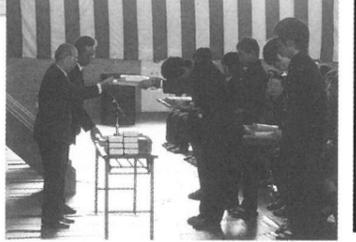
部活動では、辛い練習も仲間と励まし合い一つの目標に向かい日々、技術と精神面を鍛え、充実した三年間を送ることができたと思います。

四年制大学に進学後も、現状に満足せず常に上を目指し志を忘れず、大学生生活を有意義なものとし専門分野を極めたいと思います。

建築インテリア科 星 映理香



この三年間を振り返り、授業、資格取得、生徒会活動などを通して、多くの事を学ぶことが出来ました。しかしその反面、他の人に比べ、



化学工学科 田邊 浩仁



僕はこれまでただがむしゃらに男子新体操を頑張ってきた。自分の勝手なイメージでしたが、松江賞などの賞は勉強や資格取得など出ていないと貰えないものだと思ってた。この原稿を渡された時は「何事か?」という心境でした。

高校生活の最後にこのような賞をいただき、本当に良い形として残る思いが出ました。一つの部活を続けてきて本当に良かったと思います。ありがとうございます。

セラミック科 鈴木 美香



松江賞を受賞するとは聞いたときは、とても驚きました。でも、すごく嬉しかったです。

私にとって高校生活は、ほんとにあつたという間の三年間でした。原稿用紙が何十枚あつても書ききれないほどの思いが、たくさん心の中に残っています。辛くて悩んだ時期、毎日楽しかった時期、いろんな時がありました。それが、どれも思い出になりました。

一・二年生にとつての高校生活とはなんですか。高校生活は長いようで短くて、たつた三年間しかありません。今しかできないことをやれた方だと思います。私をいつも支えてくれた友達や先生方には、とても感謝しています。

今回頂いた松江賞は私一人分ではなく、クラス四十人分の松江賞だと思っています。本当にありがとうございます。

機械科一組 小林 大志



松江賞をいただき本当に驚きました。会津工業に入社した日は目標も持たずにだらだらと生活してしまっていたらと後悔しています。

一年生の成績は残念な結果となりました。努力しました。二年生となり目標も定まり、きつともうれしく思います。自分が目標を持ち、その目標を叶えるために必死に努力すればその目標は叶うと思います。

人間は日頃、30%の力しか発揮してないそうです。ですが、自分が達成したいという気持ちがあればなんでも出来る。私は思っています。

話が変わりましたが、みなさんも、目標を定めて努力してみてください。そうすれば道が切り開けると思います。

機械科二組 北澤 拓也



私は三年間、テストで上位に入ることと、皆勤賞をとることを目標にしてきました。この目標を達成しました。

成すのは、簡単なことではありませんでした。特にテストで上位に入るには、とても大変でした。上位に入るためには、苦手を努力してやりました。その甲斐あつて三年間ずっと上位でいられました。

これらのことが松江賞に結びついたんだと思います。

情報技術科 岩淵 圭太



今回、松江賞を受賞できた事を大変嬉しく思います。

この賞をつくるきっかけとなり賞の前にもなつている松江春次氏といえば、実業家として成功され、この県立会津工業高等学校の発展に大きく貢献した方です。そんな松江氏を目指し、卒業後も日々精進し、この会工の発展に少しでも貢献できればと思います。

機械科二組 二瓶 和弥



僕は二年生の夏休みに三級技術取得のため、技術指導の先生のもとで旋盤の練習をしていました。その時、成績が良かったので、出場することになった。結果は二位だったが、翌年に行われた東北大会では一位を取り、全国大会に出場できるようになった。しかし、受賞はできなかったが多くの事を学べた。また部活動では、部長を務め多く大会に出場した。僕は就職なので、この受賞を誇りに思い、これから頑張っていきたい。

電気科 小林 広樹

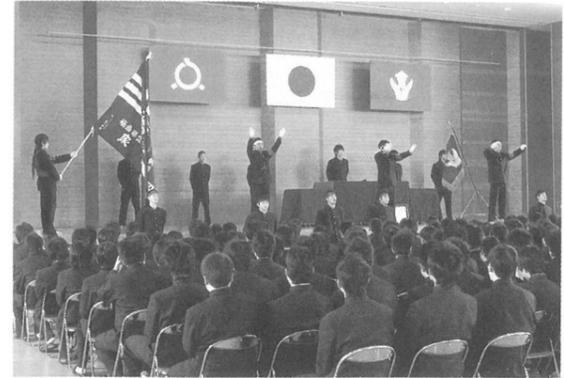


私は三年間部活動に力を入れてきました。三年間、毎日一生懸命がんばってました。自分なりにがんばり、結果も残せることができました。また、毎日部活で競い合つてきたのもあり、勉強でそれとやることもできました。部活で頑張る者となることもできました。部活で体も鍛えて強くなり、皆勤にもなりました。三年間がんばつてきて、同窓会賞を受賞できてとても嬉しく思います。

情報技術科 秋葉 志保



突然の事だったのだ、正直受賞したという実感はありません。他にもふざわしい人が沢山いるだろうし、何故私が、とばかり思っていました。しかし受賞した以上、その名前に恥じない行動をしなければならぬという引き締まるような思いも感じました。何より、高校三年間の成果がこのように形で認められた最後の飾ることができて本当に良かったと思います。これまで支えて下さった沢山の方々に感謝しながら卒業したいと思います。



表彰式 平成20年2月28日



来賓あいさつ 熊田校長



荒井PTA会長

表彰規定  
 (1) 受賞者は、教科外活動・生徒会活動・学業等において顕著な実績を残し、生活行動が立派であるものを対象とする。  
 (2) 受賞者の選考は、本校表彰委員会にて選考し、学校長が決定し同窓会運営委員会に報告されたものとする。  
 (3) 賞状および記念品については運営委員会が定める。  
 (4) 授与者は、同窓会長名とする。賞状及び副賞を贈呈しこれを表彰する。  
 (5) 授賞式は学校表彰式時におこない、年一回年次に与える。

## 受賞者に聞く

建築インテリア科 佐瀬 滋



私は、この三年間で部活動のボクシングを自分なりに一生懸命やってきました。その結果、同窓会賞という大変名誉ある賞をいただきました。本当にありがとうございます。

私はおとなしく席に着いて黒板の文字をノートに書き写す事が得意ではありませんでした。そんな落ち着きが無い私に

# 新たな「同窓会賞」新設!!



**建築インテリア科**  
 建築インテリア科もスタートから5年目に入りました。昨年度末の人事異動では卒業生を出したばかりの山野辺幸喜先生が地元の平工業高校に転出、代わって同窓生でインテリア科出身の田中哲先生が赴任されました。昨年度も今までと同様、生徒たちは色々なことに挑戦してくれたいと思います。ざっと挙げる。

- ・道都大学設計競技
- ・デザイン甲子園
- ・日本大学建築設計競技
- ・日本工業大学建築設計競技

また、校内の行事としては、新入生歓迎会、木造倉庫の建前、会津ブランドものづくりフェアでの本棚作成指導、ものづくり人材育成事業セミナー、3級技能士 建築大工等々です。

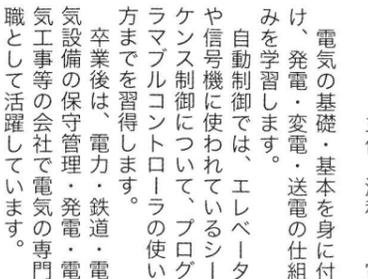
また、校内の行事としては、新入生歓迎会、木造倉庫の建前、会津ブランドものづくりフェアでの本棚作成指導、ものづくり人材育成事業セミナー、3級技能士 建築大工等々です。



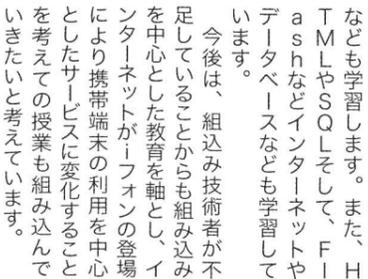
**セラミック化学科**  
 化学の知識をベースに伝統工芸から新素材の分野までを幅広く学ぶことができます。地場産業のやきもの伝統技を受け継ぎながら、新しいセラミックス(絶縁体、半導体、超電導体、磁性体など)や化学製品全般の知識や技術を学ぶことができます。茶碗、色ガラス、電子部品リサイクル石けんなどを実際に作り、分析・評価する体験的な学習をします。



**機械科**  
 機械に関する基礎的な技術・技能を実験・実習を通して総合的に学習し、応用と創造の能力を養います。従来の各種工作機械を用いたの実習や実験に加え、先端技術のNCフライス盤やマシニングセンタ等による切削加工も行っています。機械研修部では、ロボット班や省エネカー(ガソリン・電気)班等は全国大会で優勝するなど、熱心に活動しています。



**電気科**  
 電気の基礎・基本を身に付け、発電・変電・送電の仕組みを学習します。自動制御では、エレベーターや信号機に使われているシーケンサ制御について、プログラム制御の仕組みを学びます。卒業後は、電力・鉄道・電気設備の保守管理・発電・電気工事等の会社で電気の専門職として活躍しています。



**情報技術科**  
 情報技術科は、平成元年四月に繊維工業科の募集停止にともない新設されました。新設により二十年が経過し、平成二十年四月、めでたく第二十年期生四十名が入学いたしました。また卒業生も平成二十年三月で六百六十一名になりました。情報教育は、現在義務教育や普通高校でも実施され、工業高校ならではの教育が求められるようになってきました。新設当時のソフトウェア中心の教育から制御技術も身に付ける教育へと変わってきています。プログラミング言語はC言語を軸としてマイクロソフト・Javaなどを学習します。制御はC言語を中心にアセンブラなども学習します。また、HTMLやSQLそして、Flashなどインターネットやデータベースなども学習しています。今後は、組み込み技術者が不足していることから組み込みを中心とした教育を軸とし、インターネットがiPhoneの登場により携帯端末の利用を中心としたサービスに変化することを考えての授業も組み込んでいきたいと考えています。

# 平和の覇者を育みぬ。

**学び舎**  
 九州産業大学建築設計競技・日本建築協会工高生デザインコンクール  
 ・会津りんご「緋の衣」キャラクターデザインコンクール  
 ・高校生ものづくりコンテスト

**1 専門課程は、いま。**  
 校歌から

平成20年度の新生より次のような各科の略号となりました。A:建築インテリア科・C:セラミック化学科・M:機械科・E:電気科・I:情報技術科

情報技術科二十周年  
 主任 真田 郁夫

情報技術科二十周年  
 主任 真田 郁夫

# 工業高校実践教育導入事業：福島県会津の取組事例

**事業実施期間** 平成19~21年度

**事業者:** 福島県教育委員会・商工労働部、NPO法人教育・雇用研究機構  
**実施校:** 県立会津工業高等学校、県立喜多方工業高等学校

**事業内容:** 会津地域の半導体を中心としたものづくり産業をフィールドに、産学官のバックアップのもと、地域のものづくり企業と工業高校が連携・協働を推進し、地域のものづくりを支える職業人を地域ぐるみで育成する。また、本事業の活動内容を広報することで、ものづくりの関心と楽しさを地域に浸透させ、工業高校・ものづくり企業の魅力向上につなげる。

**事業組織図**  
 経済産業省委託 福島県商工労働部 NPO法人教育・雇用研究機構  
 文部科学省委託 福島県教育委員会

**会津ものづくり人材育成事業**  
 ~ものづくりあいづ宣言21~

**【具体的な取組】**

- ・会津版デュアルシステムの実施 (企業実習の単位化)
- ・幅広く基礎から高度まで技術習得 (企業研修施設活用)
- ・外部講師招聘事業 (企業技術者の工業高校での実践指導)
- ・生徒のものづくり共同研究 (企業技術者の支援)
- ・工業高校の施設や技術力の高度化 (設備の寄付など)
- ・会津のものづくり教育を浸透 (ものづくり学園祭・出前講座)
- ・会津の技術力を県内・国内外へ発信 (セミコン出展・もの人HP・各種発表会やイベント参加など)

**【会津版デュアルシステム】**  
 ○デュアルシステムインターンシップ  
 (1学年全員が履修:1単位:短期インターンシップ前後に安全学など指導)  
 ○デュアルシステムものづくり実践  
 (2,3学年で選択、各2単位、学校設定科目「ものづくり実践(仮称)」(機械工作・メカトロ・マテリアル・情報技術・環境とエコの5コース))

**【主な成果】(平成19年度から平成20年度7月まで)**

- 外部講師招聘事業 (半導体日新館など52ターマ延べ150回)
- 学校や企業での実践的指導 (校内33企業、生徒延2275名;企業実習34事業所、体験生徒66名)
- 企業トレーニング施設半導体機軸背増体験生徒5名、教員3名
- 「SEMICON」JAPAN出展 高校生で史上初
- 設備の高度化 企業からの寄贈等
- ものづくり学園祭来客約2万2千人 実体的な展示会

**地域連携推進部 石崎 晃**

**窯変天目茶碗の制作を通じたスペシャリスト育成への挑戦**

はじめに  
 先進技術や技能を研究し、専門分野の人材育成を支援する文部科学省「目指せスペシャリスト」事業に、平成17年度~19年度の3年間、本校が指定を受け、「窯変天目茶碗の制作を通じたスペシャリスト育成への挑戦」をテーマに研究開発を進めてきた。

本校では、鉄を含んだ黒色の釉薬「天目釉」を用いた陶磁器制作を研究し、国宝級天目茶碗の再現、新規釉の開発を行い、実用化に繋げるなど地場産業への寄与を目指した。

セラミック科を中心に他学科と連携しながら、窯の中で色相・結晶の化学変化を含め、調査割合や焼成条件などを科学的に探究した。また、地元窯元、大学、研究機関との産学官連携の下、技術指導を受けた。

こうした体系的な研究を通じ、学科間・産学官の連携を構築・強化することにより、将来の地域社会の担い手となる「スペシャリスト(専門的職業人)」を育成した。ここでは、本事業の取組の一部とその成果について報告する。

**学校設定科目「工芸デザイン」**  
 学校設定科目として「工芸デザイン」(2年次2単位)を新設した。この科目では2時間連続の授業とし、3班編成にして座学と実習を交互に行った。座学ではデザイン基礎、伝統工芸、用の美、陶磁史に関する内容を学習し、実習ではろくろやコンピュータグラフィックス(CG)による成形技術・技術を習得した。特に電動ろくろ10台を導入設置できたことから、ひとり1台ずつ使用可能となった。その結果、生徒の成形技能が大幅に向上した。

「工芸デザイン」のシラバスと学習書(実技編)を作成した。学習書は書き込み式とし、ろくろ編とCG編との2本立てとした。来年度は、座学編を作成予定である。この科目で学んだ知識や技能を生かして、「CGクリエーター検定」「ろくろ技能検定」に挑戦する生徒が増えた。

**ろくろ技能検定**  
 伝統技能の学習奨励並びにその継承と普及を目的として、「ろくろ技能検定」を創設した。学科と実技試験ともに70点以上を取得した場合に合格となる。会津本郷焼事業協同組合理事長(伝統工芸士)と本校教員の2名が実技審査をした。創設後2年間で、生徒17名、大学生1名、社会人2名の計20名が受験し、全員合格となった。

本検定は高校生以外の受験も可能であることから、若手職人や芸術系大学生の受験を積極的に入れ、地域に根ざした検定にし、産地の後継者育成や活性化に繋げていきたい。

なお、今年度よりジュニアマイスター認定検定となり点数化された(2点)。生徒の励みとなった。

**外部講師招聘事業**  
 3年間で陶芸家、技術者、起業家、大学教授など22名を外部講師として招聘し、80回以上の授業を行った(工芸デザイン実技指導や放課後の指導も含む)。

1年次は専門学習への興味・関心を高めるとともに、ろくろ成形などの伝統技能の習得を図り、工業人としての幅広い資質と起業家精神を育成した。

2、3年次は1年次よりも外部講師の授業を大幅に増やした。陶芸家による実技指導では、ろくろ技能検定合格や美術展入選に繋がるなど大きな成果が見られた。また、大学教授などを招聘することで、科学的な見地から探究する姿勢も育成した。

再現性を高めるには、経験や勘も大事であるが、科学的根拠や理論が必要なることを生徒に理解させることができた。さらには、講師陣の人生哲学や生活信念は生徒の心に響き、人格形成の一助となった。

**校外学習**

産学官連携の下、窯元・企業・大学・研究機関にて校外学習を実施した。窯元・地元企業では登り窯見学(窯焼き体験)、工場見学、インターンシップを、大学・研究機関では高度機器分析などをそれぞれ行った。

「百聞は一見に如かず」である。実際に校外において「見る」「触れる」「聞く」「学ぶ」ことで、専門への興味・関心を高め、学習・勤労意欲を深化させることができた。また、生徒の顕著な変化が認められた。

今後は地元企業とデュアルシステムについて研究協議することが望まれる。

**窯変(窯変)天目釉の研究**  
 国宝級天目茶碗の再現や新規釉の開発には「芸術と科学の融合」が必要となる。経験や勘、試行錯誤を繰り返すことと併せて、科学的な見地から探究する姿勢を育成した。

系統的に調査実験を行った結果(千回以上)、比較的良好な油滴天目釉や窯変天目釉を再現することができた。また、新規開発釉の見通しを立てた。

**窯変天目釉**  
 釉式(1)に酸化第二鉄8wt%、炭酸マンガンを6wt%、その他3wt%(酸化チタン、酸化クロム、酸化コバルト)を添加した釉を用意し、素焼の茶碗に施した。乾燥後、二酸化チタン溶液(核加剤)を筆で茶碗内面に塗布し、機械科・電気科の生徒が製作した電気炉で焼成したところ、写真のような窯変特有の星紋と虹彩が認められた。国宝に近いものができる。これを会津窯変天目茶碗(加飾窯変天目茶碗)と名付けた。

会津窯変天目釉の特長は「無鉛化(安全安心)・一度本焼(省エネルギー)・酸化焼成(簡易操作)」であり、諸条件を設定すれば量産可能となる。

なお、研究施設において検証済みである。地場産業の振興に繋げていきたい(特許出願中)。

**新規開発釉**  
 天目釉の二度焼をしたところ、赤目黄天目釉などを見出すことができた。これは実験中のセレンディビティによるものであった。着色の原因は、二度焼による鉄の価数の変化によるものと考えられる。

**おわりに**  
 困難な研究テーマであるが、オンリーワン・ナンバーワンになれる要素が含まれている。幻の名器の再現への飽くなき挑戦は続く。生徒に夢と希望を与えつつ、生徒・教員一丸となって天目釉の研究を継続する予定である。

今後は「ものづくりを通じた人づくり(人格の形成)」を合言葉に、文部科学省・経済産業省指定の「会津のものづくり人材育成事業(人は財[タカラ]という意味)~ものづくりあいづ宣言21~」に繋げ、地域社会から期待され求められるスペシャリスト(専門的職業人)を育成し、より一層、地域社会に密着・貢献する工業高校を目指したい。

[謝辞] 関係各位に深く感謝申し上げます。

**文部科学省指定「目指せスペシャリスト」事業の概要**  
 セラミック科・セラミック化学科主任 佐藤 正道

**会工窯変天目茶碗**

情報技術科二十年をむかえ今後ともものづくりをおしな教育をしていきたいと考えます。



# F

## セラミック科

主任 佐藤 正道



セラミック製品のほとんどは高温で加熱して作られています。茶碗から電子部品ま

ているいるものがあります。身近なところから最先端分野まで幅広く使われています。平成17、19年度の3年間、文部科学省の指定を受け「スーパー専門高校「目指せスベシヤリスト」事業」、セラミック科を中心に他学科と連携しながら、国宝級躍天目録の研究を行いました。現在も研究が続いています。

# C

## 化学工学科

主任 小野 一夫



私たちの身のまわりには、いろいろ化学製品があります。近年は新しい機能を持った製品を生み出しています。生活・文化を向上させていますが、現在は情報化の時代ですが、それを支える材料を生み出しているのも化学技術です。

## 野球部



福島民報提供

会工バレーボール部は、今年男子は三名、女子二名の新入部員を迎え日々練習に励んでいます。

## バレー部

私達女子バレーボール部は、遠藤先生・高橋先生・村上先生のご指導のもと、現在部員が六人という厳しい状況の中、県大会上位を目標に日々練習

# 奮るえんや会工の健男児 応援歌から

# 学び舎ロケーション ② クラブ活動は、いま。

### 部活動大会報告

第五十四回福島県高等学校体育大会

個人	自由形50m	卓 一(1E)
個人	自由形100m	博 三(2M)
個人	自由形200m	啓介 一(1M)
個人	自由形400m	博 三(2M)
個人	自由形800m	啓介 一(1M)
個人	自由形1500m	啓介 一(1M)
個人	自由形3000m	啓介 一(1M)
個人	自由形5000m	啓介 一(1M)
個人	自由形10000m	啓介 一(1M)
個人	自由形20000m	啓介 一(1M)
個人	自由形30000m	啓介 一(1M)
個人	自由形40000m	啓介 一(1M)
個人	自由形50000m	啓介 一(1M)
個人	自由形60000m	啓介 一(1M)
個人	自由形70000m	啓介 一(1M)
個人	自由形80000m	啓介 一(1M)
個人	自由形90000m	啓介 一(1M)
個人	自由形100000m	啓介 一(1M)

に励んでいます。11月に行われた新人戦では、それまで目標としてきた「県大会一勝」の目標を果たせたものの、先月行われた高体連では県大会出場権を逃してしまいました。

今年度は部員が18名と、全員競技者として4月から日々の稽古に取り組んでいます。昨年度までは、馬場勇作先生はじめ、多くのOBの方々稽古に足を運んで頂きました。

現在、私たちは総勢18名で活動し大会成績としては偉大な先輩方のまだ足元にも及びませんが常勝軍団会津工業復活に向けて部員一丸となって日々練習に励んでいます。

大会過去数回と優勝し、東北・全国大会でも上位入賞を果たしたOBの方々がたくさん

古豪復活を目指して「第2章」

現在、私達会津工業バスケットボール部は、三年生六人、二年生八人、一年生十一人、マネージャー三人の計二十八人で活動しています。

今年度は部員が18名と、全員競技者として4月から日々の稽古に取り組んでいます。

大会過去数回と優勝し、東北・全国大会でも上位入賞を果たしたOBの方々がたくさん

先日行われたインターハイの地区大会では、若松商業だけでなく会津高校にもよやの敗戦を喫してしまい、三位という結果で終わってしまいました。県大会においても、一回戦、磐城桜ヶ丘に辛くも

今年度は部員が18名と、全員競技者として4月から日々の稽古に取り組んでいます。

現在、一年生部員5名、二年生部員2名の計7名で部活動を行っています。一年生は、

4月1日より新体制で会津工業サッカー部がスタートした。4月12日にFリーグが開幕し、(第1節)湯本高校1-0、(第2節)平工業高校2-2、(第3節)郡山商業1-0と勝利し2勝1分けとした。チームの雰囲気が良いまま高校大会地区予選にのぞみ、(2回戦)喜多方東



吹奏楽部

勝ち地区優勝した。高校県大会でもこの勢いで良い成績を残したいと思いつきに臨んだ。雨が芝のグラウンド上に溜まり、思うよう展開ができないと予想したが、ポールを圧倒的に支配し相手手を翻弄した。シュート数で相手の3倍以上打ったが、相手の粘り強いディフェンスに悉くはじかれ2回戦で姿を消した。2ヶ月余りの練習で選手の意識が変わり個人個人の技術が向上し、今後を期待できるチームになったと感じている。

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 佐佐木 山崎, 山崎 雅幸, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 田中 信一, 山崎 裕吉, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 小石 久正, 山崎 敬夫, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 山崎 原羽, 山崎 賀林, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 長野 善行, 山崎 行勝, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 山崎 佐佐木, 山崎 藤岸, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 山崎 福田, 山崎 島田, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 山崎 中玉, 山崎 野川, etc.

平成20年8月31日にて 募金総額 143万円以上 683件 締切りさせていただきました。

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 昭昭 高冠, 昭昭 大田, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 昭昭 大江, 昭昭 岩間, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 昭昭 斎内, 昭昭 藤川, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 昭昭 沢石, 昭昭 宮谷, etc.

Table with 2 columns: Names and their respective contributions or roles. Includes names like 昭昭 若松, 昭昭 日立, etc.

Table with 2 columns: 各支部役員名・2 (平成20年9月現在). Lists officers for various branches like 建友会, 電友会, 機友会.

# 会工同窓会役員

平成20年9月現在

## ■本部

顧問	吉田一榮	会津若松市
顧問	山内清司	会津若松市
顧問	梅津正夫	会津若松市
副会長	手代木利夫	会津若松市
副会長	渡部泰雄	会津若松市
副会長	星芳雄	岡山県倉敷市
副会長	荒井久	神奈川県
副会長	荒井武	都山
副会長	菅沼淳一	福島市
副会長	大堀順一	会津坂下町
副会長	菅沼章生	湯川村
幹事	鈴木仁	西会津町
幹事	高杉可勝	喜多方市
幹事	荒明正義	会津若松市
幹事	渡部洋子	会津若松市
幹事	栗城和夫	会津若松市
幹事	若狭春生	会津若松市
幹事	藤田晴史	会津若松市
幹事	山岸清	会津若松市
幹事	木村洋一	会津若松市
幹事	伊藤博	会津若松市
幹事	冠木忠之	会津若松市
幹事	荒明正義	会津若松市
幹事	小林憲一	会津若松市
幹事	江花光泰	会津若松市
幹事	片平寛	会津若松市
幹事	佐藤松夫	会津若松市
幹事	加藤昭雄	会津若松市
幹事	石原章男	会津若松市
幹事	齋藤四志男	会津若松市
幹事	根本一雄	会津若松市
幹事	藤田晴史	会津若松市
幹事	近藤信之	会津若松市
幹事	長川利彦	会津若松市
幹事	佐藤幹夫	会津若松市
幹事	佐藤義之	会津若松市
幹事	石田功	会津若松市
幹事	荒川富士雄	会津若松市
幹事	風間眞一	会津若松市
幹事	渡部崇	会津若松市
幹事	菊地壽雄	会津若松市
幹事	菅原正晴	会津若松市
幹事	伊藤幸治	会津若松市
幹事	菊地登雄	会津若松市
幹事	佐藤満	会津若松市
幹事	五十嵐昭夫	会津若松市
幹事	三井正春	愛知県
幹事	石川善一	大阪府
幹事	金田寛	郡山市
幹事	神田信之	福島市
幹事	長谷川与一	猪苗代町
幹事	猪俣勇一	会津坂下町
幹事	佐野常雄	湯川村

## 会計

小島淳一	西会津町
梨子本傑	会津坂下町
河野政昭	会津若松市
木津光石	会津若松市
古川義信	会津若松市
関井信平	会津若松市
岡内進一	会津若松市
山口栄喜	会津若松市
五十嵐雄一	会津若松市
坂内美佐子	会津若松市
小椋山勲	猪苗代町
菅根智子	会津若松市
渡部恵子	会津若松市
岩田浩之	会津若松市
真田郁夫	会津坂下町
手代木徳夫	会津若松市
坂内茂男	会津若松市
関場一宏	会津若松市
真田郁夫	会津若松市
佐藤正道	会津若松市
若狭春生	会津若松市
長崎敏秀	会津若松市
福本可文	会津若松市
中丸誠	会津若松市
玉川誠	会津若松市
鶴岡幸江	会津若松市
渡邊修	会津若松市
田中哲	会津若松市
星義一	会津若松市

## 監事

真田郁夫	会津若松市
佐藤正道	会津若松市
若狭春生	会津若松市
長崎敏秀	会津若松市
福本可文	会津若松市
中丸誠	会津若松市
玉川誠	会津若松市
鶴岡幸江	会津若松市
渡邊修	会津若松市
田中哲	会津若松市
星義一	会津若松市

## 事務局

真田郁夫	会津若松市
佐藤正道	会津若松市
若狭春生	会津若松市
長崎敏秀	会津若松市
福本可文	会津若松市
中丸誠	会津若松市
玉川誠	会津若松市
鶴岡幸江	会津若松市
渡邊修	会津若松市
田中哲	会津若松市
星義一	会津若松市

## 編集後記

初秋の季節となりましたが、会員の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。  
今年は北京オリンピックの年、ボクシング・水泳で惜しくも出場を逃しましたが、「会工」の名を全国に轟かせる事ができました。さて、今年度の会報も昨年と同じ時期に発行できました。これも会員皆様の協力があった事です。さらに充実した紙面を考えております。各支部の活動状況等事務局へご一報ください。お願いいたします。  
最後に、七月初旬に本部同窓会会長梅津正夫氏の逝去に際しまして、ここに改めましてのご功績に対し感謝申し上げると共に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

梨子本傑 鴻巣幸江

(平成20年9月現在)

## ■各支部役員名・1

地区	役職	名前	前	卒業年	地区	役職	名前	前	卒業年	地区	役職	名前	前	卒業年
東	京	会長	井島文昌	34	近畿	相談	谷部雅之	26	若松	幹事	菊山	52		
		副会長	荒岡金五	29			副会長	長渡荒石			31	副会長	地山邊	38
	東	海	幹事	士文	22	副会長	安黒近大	11	副会長	徳壽喜	11			
			幹事	島清昭	33	幹事	藤川	24	幹事	伊久	11			
			幹事	風綿	33	幹事	山藤	35	幹事	久節	11			
			幹事	實藤中木	44	幹事	野山	22	幹事	徹	11			
			幹事	見藤山	40	幹事	野	33	幹事	芳和	11			
			幹事	利村川	39	幹事	井野	37	幹事	久嘉	11			
			幹事	池木々	34	幹事	林田	42	幹事	秀正	11			
			幹事	藤原島	40	幹事	内木	22	幹事	信正	11			
東	海	幹事	政和	44	若松	顧問	代長	若松	30	福島	顧問	問長	田藤	24
		幹事	義利	43			副顧問	手若	28			副顧問	神佐	24
		幹事	川田上	43			顧問	渡小栗	32			顧問	江大	26
		幹事	博政	44			顧問	伊小小	41			顧問	佐伊	26
		幹事	重一	44			顧問	久片	32			顧問	磯猪	29
		幹事	芳哲	23			顧問	藤場	33			顧問	目保	33
		幹事	敏伊	30			顧問	中田	33			顧問	子妻	44
		幹事	功定	31			顧問	藤中	36			顧問	久高	44
		幹事	正	31			顧問	田田	40			顧問	風部	33
		幹事	兵春	33			顧問	山森	45			顧問	沼木	36
東	海	幹事	裕憲	44	猪苗代	顧問	問長	浅小	47	西会津	顧問	問長	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	佐栢	47			顧問	長谷	44
		幹事	裕憲	44			顧問	山森	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	浅小	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	山森	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	浅小	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	山森	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	浅小	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	山森	47			顧問	山江	44
		幹事	裕憲	44			顧問	浅小	47			顧問	山江	44